令和 7 年度

学校要覧

山形県立山辺高等学校

〒990-0301　山形県東村山郡山辺町大字山辺3028
TEL／023-664-5462・5132　FAX／023-664-5545
http://www.yamanobe-h.ed.jp/

校 章 に つ い て

昭和23年10月13日制定。生徒阿部敬二君の作品が入選。「高」を中心にした四枚の花片は、ペンと四つの中心校、分校を表わし、四本のペンを結んだ環と、それに付いている「○」は、宇宙と夜空の星を意味している。大いなる希望を胸に秘め、輝く星空のもと、夜勉学に励む姿を象徴して遺憾ない。最初環についた星が三つずつ12個あったのを４個に減らし、改められたということである。

（10周年記念誌より転載）

校　歌

佐　藤　　巌　作詞
安　達　久　五　作曲

一、萌え出づるもの　青春の
輝く眉に　空すみて
遥かなるかな　国原は
はがねの生命　燦として
蔵王の雲に　光るとき
われら　希望の塔に立つ

二、漲れるもの　新生の
うつつに匂ふ　青雲に
美しきかな　感激は
夕さりくれば　野の花の
最上の澪に　映ゆるとき
われら　久遠の丘をゆく

三、澄み透るもの　蒼天の
またたく星を　徽章にて
芳はしきかな　伝統は
愛知のかをり　さながらに
銀河の光と　さゆるとき
ああ鶴陵に　われらあり

目　　　次

校　　章
校　　歌
1．学 校 沿 革 ………………………………………………………………………………… 1
　1．沿革概要　　2．歴代校長　　3．卒業（修了）生徒数
2．施 設 一 覧 ………………………………………………………………………………… 3
　1．施設の状況　　2．校舎配置図
3．学　　　則 ………………………………………………………………………………… 5
4．教 育 目 標 ………………………………………………………………………………… 9
　1．校訓　　2．教育目標　　3．教育方針　　4．重点目標
5．教 育 課 程 ………………………………………………………………………………… 10
　1．食物科　　2．福祉科　　3．看護科
6．キャリア教育総合実践プログラム …………………………………………………… 14
7．道徳教育全体計画 …………………………………………………………………………… 16
8．教 職 員 等 ………………………………………………………………………………… 17
　1．教職員構成　2．教職員一覧　3．学校医　4．学校評議員　5．学校関係者評価委員
9．学校運営組織と校務分掌 ………………………………………………………………… 19
　1．学校運営組織図
10．生徒の概況 ………………………………………………………………………………… 20
　1．学年・学科別生徒数　2．出身中学校別生徒数　3．市町村別生徒数　4．通学状況
11．生　徒　会 ………………………………………………………………………………… 24
　1．組織図　　2．部活動加入状況
12．進 路 状 況 ………………………………………………………………………………… 26
　1．令和６年度進路状況　　2．過去３年間の進学状況　　3．過去３年間の就職状況
13．図　書　館 ………………………………………………………………………………… 29
　1．蔵書
14．学校保健・学校安全 ……………………………………………………………………… 30
　1．令和７年度学校保健計画　　2．令和７年度学校安全計画
15．専攻科の課程 ……………………………………………………………………………… 33
　1．教育課程　　2．生徒の概況　　3．進路状況　　4．自治会組織図
令和７年度年間行事予定表 ………………………………………………………………… 42

1．学　校　沿　革

1．沿　革　概　要

昭23.	4.	1	学校教育法第44条の規定により高等学校（定時制の課程）として設立
	5.	3	山形県立山辺高等学校（本校）開校
	5.	16	長崎分校開校
	5.	17	大郷分校開校
	5.	18	金井分校開校
27.	4.	1	定時制の課程家庭科前期（１学級）併置
28.	4.	1	定時制の課程家庭科（１学級）併置
31.	4.	1	全日制の課程家庭科（１学級）併置
33.	3.	15	定時制の課程家庭科前期廃止（第５回修了生迄）
34.	3.	6	定時制の課程家庭科廃止（第３回卒業生迄）
35.	3.	31	金井分校廃止
	4.	1	全日制の課程家庭科２学級設置
36.	3.	31	大郷分校廃止
37.	3.	31	長崎分校廃止
	4.	1	全日制の課程家政科と名称変更
42.	4.	1	衛生看護科１学級設置（文部省設置認可）
43.	3.	31	土地・建物県移管
45.	4.	1	専攻科（衛生看護）１学級設置（文部省設置認可）
54.	4.	1	定時制課程募集停止
56.	3.	31	定時制課程廃止
61.	4.	1	食物科設置（家政科２学級のうち１学級改編）
平 8.	4.	1	福祉科設置（家政科を改編）
14.	4.	1	衛生看護科・専攻科（衛生看護）５年一貫教育に移行、学科名「看護科」に改名
16.	3.	31	校訓制定
	4.	1	二学期制を導入
18.	3.	31	衛生看護科の閉科
21.	3.	12	寄宿舎耐震工事完了
21.	4.	1	福祉科が特例校となる（文部科学省認可）
22.	4.	1	福祉科が福祉系高校となる（文部科学省認可）

２．歴 代 校 長

代	氏　名	在　任　期　間	代	氏　名	在　任　期　間
第１代	井上助太郎	昭23．４．１～昭31．３．31	第16代	細谷　壽守	平９．４．１～平11．３．31
第２代	兼子　邦吉	昭31．４．１～昭34．３．31	第17代	金村　　勲	平11．４．１～平13．３．31
第３代	笠原　二郎	昭34．４．１～昭38．３．31	第18代	佐藤　敏彦	平13．４．１～平14．３．31
第４代	菊地　律郎	昭38．４．１～昭44．３．31	第19代	武田　允興	平14．４．１～平16．３．31
第５代	川合　俊一	昭44．４．１～昭46．３．31	第20代	五十嵐義昌	平16．４．１～平18．３．31
第６代	楢岡　三郎	昭46．４．１～昭50．３．31	第21代	菅原　和敏	平18．４．１～平20．３．31
第７代	渡辺　信三	昭50．４．１～昭53．３．31	第22代	鈴木　剛一	平20．４．１～平22．３．31
第８代	田中　吉也	昭53．４．１～昭55．３．31	第23代	堀　　英司	平22．４．１～平24．３．31
第９代	阿部　正義	昭55．４．１～昭59．３．31	第24代	鈴木　　慈	平24．４．１～平26．３．31
第10代	鈴木　静夫	昭59．４．１～昭62．３．31	第25代	奥山留美子	平26．４．１～平28．３．31
第11代	大沼　英夫	昭62．４．１～昭63．３．31	第26代	髙橋　恵子	平28．４．１～平30．３．31
第12代	奥山　一利	昭63．４．１～平３．３．31	第27代	石山　宣浩	平30．４．１～令３．３．31
第13代	小笠原正亮	平３．４．１～平５．３．31	第28代	渡辺　浩之	令３．４．１～令５．３．31
第14代	山口　信好	平５．４．１～平８．３．31	第29代	大内　郭嘉	令５．４．１～令７．３．31
第15代	兼子　正克	平８．４．１～平９．３．31	第30代	高橋久美子	令７．４．１～

３．卒業（修了）生徒数

設　置　課　程	期　　間	卒業生徒数	備　　考
定　　時　　制	昭24．４～昭56．３	1,499名	男子　982名　　女子　517名
全　　日　　制	昭34．３～令７．３	7,423名	家政科2,895名 食物科1,410名 衛生看護科1,332名 福祉科977名 看護科809名
専　　攻　　科	昭47．３～令７．３	2,049名	衛生看護　1,342名　　看護　707名

2．施設一覧

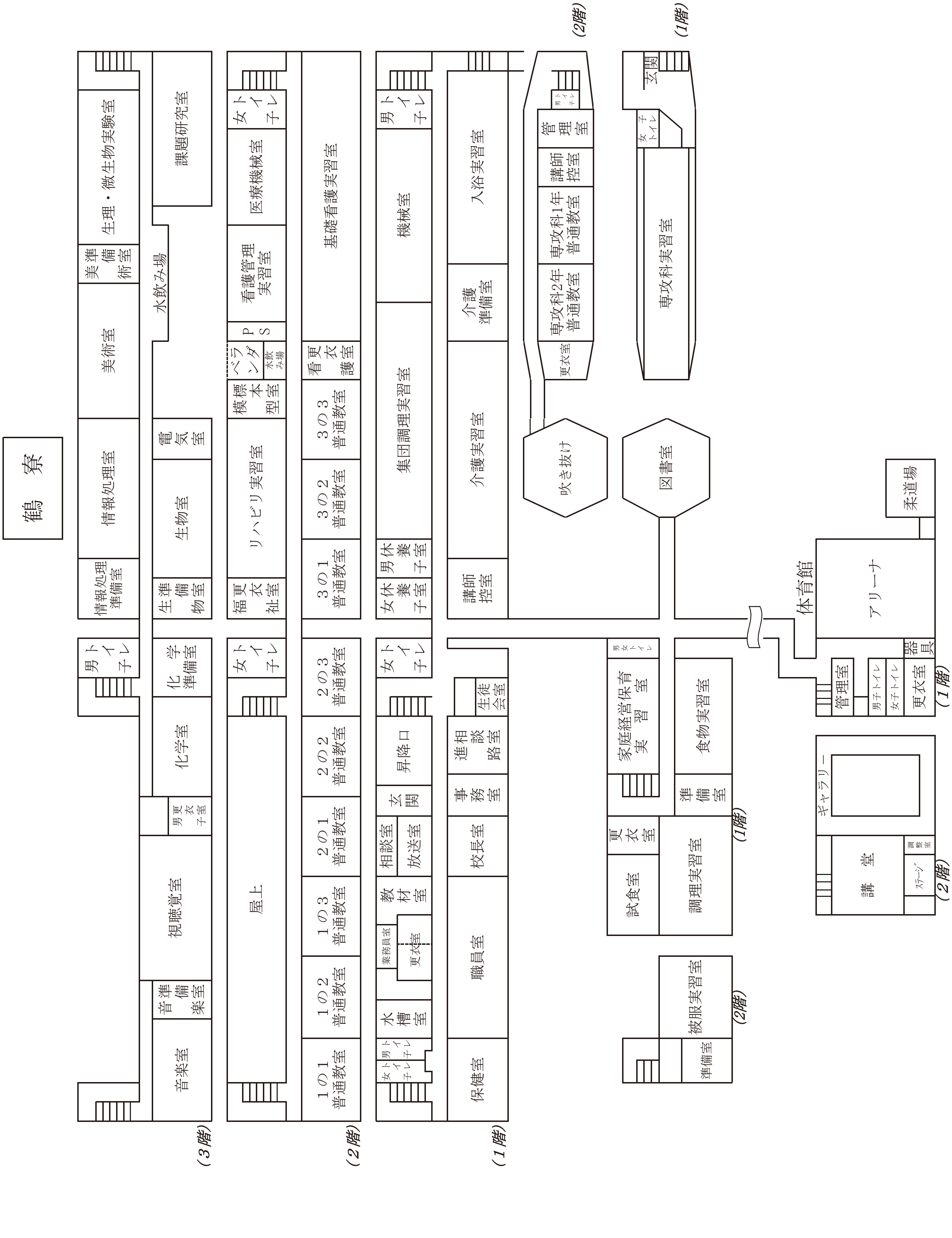
1．施設の状況

⑴ 校地　校舎敷地15,408㎡　グラウンド敷地16,077㎡　その他2,139㎡
合計33,624㎡

⑵ 校舎

用途別	数	面積(㎡)	用途別	数	面積(㎡)
普通教室	11	757	看護管理実習室	1	64
化学教室（準備室含）	1	135	模型標本室	1	35
音楽教室（準備室含）	1	135	基礎看護実習室	1	224
視聴覚教室	1	155	専攻科管理室・講師控室	1	70
生物教室（準備室含）	1	141	専攻科実習室	1	273
情報処理室（準備室含）	1	176	図書館	1	243
美術室（準備室含）	1	131	保健室	1	65
生理微生物実験室	1	128	校長室	1	49
課題研究室（会議室）	1	128	職員室	1	137
更衣室(福祉・看護・専攻科・男子)	4	122	事務室	1	45
リハビリ実習室	1	141	業務員室	1	24
休憩室	2	70	更衣室	1	29
集団調理実習室	1	173	教材室	1	32
家庭経営保育実習室	1	118	放送室	1	17
試食室	1	90	相談室（カウンセリング室）	1	23
調理実習室	1	192	生徒会室	1	30
食物実習室	1	218	入選作業室	1	9
食物準備室	1	34	水槽室	2	65
被服実習室	1	189	便所	9	248
被服準備室	1	55	廊下その他		2,636
機械室（電気室含）	1	160	体育館	1	2,473
講師控室	1	35	柔道場	1	252
福祉科実習室(介護・入浴実習室・準備室含)	1	412	合宿所兼生活実践室	1	207
			寄宿舎	1	890
医療器械室	1	64	合計		12,099

2．山辺高校　校舎配置図



鶴寮
情報処理準備室
情報処理室
美術室
美術準備室
生理・微生物実験室
課題研究室
水飲み場
電気室
生物室
生物準備室
化学準備室
化学室
男子更衣室
視聴覚室
音楽準備室
音楽室
（3階）
女子トイレ
医療機械室
看護管理実習室
PS
ベランダ
水飲み場
標本模型室
リハビリ実習室
福祉更衣室
女子トイレ
屋上
基礎看護実習室
看護更衣室
3の3普通教室
3の2普通教室
3の1普通教室
2の3普通教室
2の2普通教室
2の1普通教室
1の3普通教室
1の2普通教室
1の1普通教室
（2階）
男子トイレ
機械室
集団調理実習室
男子休養室
女子休養室
女子トイレ
昇降口
玄関
相談室
放送室
教材室
業務員室
更衣室
水槽室
男子トイレ
女子トイレ
入浴実習室
介護準備室
介護実習室
講師控室
生徒会室
進路相談室
事務室
校長室
職員室
保健室
（1階）
（2階）
管理室
講師控室
専攻科1年普通教室
専攻科2年普通教室
更衣室
吹き抜け
（1階）
玄関
女子トイレ
専攻科実習室
図書室
柔道場
体育館
アリーナ
器具室
管理室
男子トイレ
女子トイレ
更衣室
（1階）
ギャラリー
講堂
ステージ
調整室
（2階）
男女トイレ
家庭経営保育実習室
食物実習室
準備室
（1階）
更衣室
試食室
調理実習室
被服実習室
準備室
（2階）

3．学　　　　則

第　1　章　総　　　　則

第１条　本校は、山形県立山辺高等学校と称する。

第２条　本校は、学校教育法及び山形県教育委員会の定める規則により、高等普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

第３条　本校の課程、学科、修業年限及び生徒の入学定員は次のとおりとする。

課　　程	修業年限	設　置　学　科		入学定員
全日制の課程	3　年	家庭	食　物　科	40
			福　祉　科	40
		看護	看　護　科	40
専　攻　科	2　年	看　　護		40

第　2　章　年度、学期及び休業日

第４条　年度は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

２　年度を分けて、次の２学期とする。

⑴　前期　４月１日から９月30日まで

⑵　後期　10月１日から３月31日まで

第５条　休業日は、国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日並びに土曜日のほか次のとおりとする。

⑴　学年始休業日

⑵　夏季休業日

⑶　冬季休業日

⑷　学年末休業日

第　3　章　教育課程及び授業時数

第６条　本校の教育課程は別に定める。ただし、看護科においては全日制の課程と専攻科の５年一貫した教育課程を編成する。

第７条　校長は、授業を行う日数、時間数及び授業開始の時刻は別に定める。

第　4　章　単位数及び教育課程修了の認定

第８条　各教科・科目の単位の修得は、平素の成績を評価して校長が認定する。

２　専攻科の各科目の修得は、平素の成績を評価して校長が認定する。

第９条　校長は、本校所定の全課程を修了したと認めた者には卒業証書を授与する。

２　校長は、専攻科を修了したと認めた者には修了証書を授与する。

第　５　章　　入学、休学、留学、転学及び退学

第10条　本校に入学することのできる者は、中学校若しくはこれに準じる学校を卒業した者、又は次の各号の一に該当する者とする。

⑴　外国において、学校教育における９年の課程を修了した者

⑵　文部科学大臣の指定した者

⑶　その他校長が、中学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第11条　校長は、入学を志願した者について、選抜により入学を許可する。ただし、専攻科の選抜については、卒業の判定等を以って行う。

２　前項の選抜に関しては、山形県教育委員会の定めるところによる。

第12条　入学志願者は、入学願書及び出身中学校長の作成した調査書に入学者選抜手数料を添え、出身中学校長を経由して、提出しなければならない。ただし、専攻科については、入学願書のみ提出するものとする。

第13条　第１学年の途中又は第２学年以上に入学を許可される者は、相当年令に達し、校長が当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認めた者とする。

第14条　生徒を入学させる時期は、学年の始めから30日以内とする。

第15条　入学を許可された者は、保護者等連署の誓約書に住民票抄本及び入学料を添え、入学を許可された日から20日以内に校長に提出しなければならない。

２　保護者等に変更があった場合は、保護者等連署の誓約書に住民票抄本を添え、速やかに校長に提出しなければならない。

第16条　保護者等は、次の各号の一に該当する者で、その順位は各号の順序とする。

⑴　親権者

⑵　後見人

⑶　生徒が18歳となる日の前日に第１号又は第２号に該当していた者

⑷　その他校長が適当と認める者

第17条　生徒は、病気その他やむをえない理由により２箇月以上出席できないとき、又は退学しようとするときは、その理由を付し、保護者等が連署の上、休学（退学）願を提出し、校長の許可を受けなければならない。ただし、病気のために休学しようとする場合には医師の診断書を添えなければならない。

２　休学の期間は引き続き２年以内とする。

３　生徒は、退学しようとするときは、その理由を付し、保護者等が連署のうえ退学願を提出し、校長の許可を受けなければならない。

第18条　生徒は、学校教育法施行規則第93条第１項の規定による許可を受けようとするときは、保護者等が連署の上、留学願を提出しなければならない。

第19条　生徒は、他の学校に転学しようとするときは、転学願に保護者等連署して校長に願い出なければならない。

第　6　章　　授業料、入学料及び入学者選抜手数料

第20条　授業料、入学料及び入学者選抜手数料の徴収額及び徴収方法等については、山形県立高等学校の授業料等徴収条例及び同施行規則の定めるところによる。

2　校長は、授業料を正当の理由なく納入しない生徒に対しては、その登校を停止することができる。

第　7　章　　賞　　　　罰

第21条　校長は、教育上必要と認めるときは、別に定めるところにより生徒を表彰することができる。

第22条　校長は、教育上必要と認めるときは、生徒に懲戒を行うことができる。

2　懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

第23条　前条に規定する退学は、次の各号の一に該当するものに対して行うことができる。

⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

⑵　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

⑶　正当な理由がなくて出席が常でない者

⑷　学校の秩序を乱し、その他生徒として本分に反した者

第　8　章　　免　許・資　格

第24条　第３条の学科のうち食物科を卒業した者は、調理師法第３条第１号の規定に基づき調理師の免許を申請することができる。

2　第３条の学科のうち福祉科を卒業した者は、社会福祉士法及び介護福祉士法第40条第２項の規定に基づき介護福祉士国家試験の受験資格が与えられる。

3　第３条の学科のうち専攻科（看護）を修了した者は、保健師助産師看護師法第21条第３号の規定に基づき看護師国家試験の受験資格が与えられる。

第　9　章　　寄　　宿　　舎

第25条　寄宿舎については、山形県立山辺高等学校寄宿舎（清心寮）規定による。

附　　　　則

定時制課程の学則は、昭和27年４月１日制定、施行する。

全日制課程の学則は、昭和31年４月１日制定、施行する。

昭和42年４月１日全日制、定時制合わせての学則とし、施行する。（衛生看護科設置）

昭和45年４月１日一部改正（専攻科設置）

昭和54年４月１日一部改正（寄宿舎設置）

昭和56年４月１日一部改正（定時制課程廃止）

昭和61年４月１日一部改正（食物科設置）

平成５年４月１日一部改正（家庭科入学定員減及び第２土曜日の休業日）

平成７年４月１日一部改正（家庭科入学定員減及び第４土曜日の休業日）

平成８年４月１日一部改正（福祉科設置及び家庭科入学定員減）

平成14年４月１日一部改正（衛生看護科・専攻科（衛生看護）５年一貫教育に移行、学科名「看護科」に改名）

平成16年４月１日一部改正（二学期制導入）

平成17年４月１日一部改正（専攻科（衛生看護）の募集停止及び専攻科（看護）の募集開始）

平成18年３月31日一部改正（衛生看護科の閉科）

平成21年４月１日一部改正（福祉科の特例高校認可）

平成22年３月31日一部改正（福祉科の福祉系高校認可）

平成24年４月１日一部改正（福祉科の特例高校廃止）

令和４年４月１日一部改正（成年年齢の引き下げ）

令和６年４月１日一部改正（生徒の退学願について）

４．教　育　目　標

１．校　　　　訓

「協調・博愛・奉仕」

２．教　育　目　標

かけがえのない人の生命（いのち）を育む学科の特性を生かし、心身ともにたくましく心優しい思いやりのある生徒を育成する。

⑴　意欲を燃やし、自ら学び自ら考える力を育てる。　（自ら考え行動する力）
⑵　人間性を磨き、感謝と思いやりのある心を育てる。（人間力の育成）
⑶　個性を伸ばし、社会に貢献できる態度を育てる。　（挑戦する力）

３．教　育　方　針

⑴　基本的生活習慣を確立させ、自主的・自律的態度を育成する。（自己管理力）
⑵　基礎・基本の確実な定着と知徳体の調和のとれた教育をおこなう。（聞く力・話す力）
⑶　専門教科の深化を図り、資格を生かした進路指導をおこなう。（自己肯定力・自己研鑽力）
⑷　「いのちの教育」を進め、自他を尊重する心を育成する。　　　（非認知能力）
⑸　個性の伸長を図り、望ましい人間観・勤労観を育成する。　　（社会貢献力・職業意識力）

４．重　点　目　標

⑴　確かな学力の定着と向上
　㋐　不断の授業改善と観点別評価による指導と評価の一体化の実現
　㋑　ICTの利活用による魅力ある授業（個別最適な学びと協働的な学び）と探究型学習の推進
　㋒　学力の基盤と豊かな心を育む読書活動の実現と教育活動での図書館活用の推進
⑵　社会的自立に向けたキャリア教育
　㋐　自己理解を深め、生きる力を育み高めるキャリア教育の充実
　㋑　専門的な学びと資格取得を強みとする進路指導体制の充実
　㋒　地域課題の理解に基づく地域への貢献意識の涵養
⑶　社会力を高める生徒指導
　㋐　規範意識を高めると共に、思いやりの心を育む道徳教育と保健・健康教育の充実
　㋑　自律と協働を大切にする学校行事や生徒会活動、部活動等の推進
　㋒　細やかな面談や相談活動と個に応じた組織的な支援の充実
⑷　安全・安心な教育環境
　㋐　いのちを守り、いのちをつなぐ安全教育の充実
　㋑　感染症や熱中症を含む各種事故や事案等の未然防止対策と点検活動の充実
　㋒　防災及び情報セキュリティに関する有効な危機管理体制の実現
⑸　家庭・地域・関係機関との連携
　㋐　持続可能な地域連携活動やボランティア活動の実現による生涯学習の充実
　㋑　家庭や地域の理解・協力を得るための積極的かつ適切な情報の発信と公開の実現
　㋒　PTA、地域、関係機関との連携、協働体制の実現

5．教　育　課　程

1．食　物　科（令和５・６・７年度入学生）

教科	科目	標準単位数		1年	2年	3年	計	備考
(必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●)								
国語	現代の国語	2	◎	2			2	
	言語文化	2	◎	2			2	
	論理国語	4			2	2	4	
地理歴史	地理総合	2	◎		2		2	
	歴史総合	2	◎			2	2	
公民	公共	2	◎	2			2	
	政治・経済	2				□2	0・2	
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	
	数学発展α		●		2		2	
	数学発展β		●			□2	0・2	
理科	科学と人間生活	2	◎	2			2	
	化学基礎	2	○		2 ┐		0・2	
	生物基礎	2	○		2 ┘		0・2	
	化学	4				■4	0・4	
保健体育	体育	7～8	◎	3	2	2	7	
	保健	2	◎	(1)	(1)		(2)	
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2 ┐			0・2	
	音楽Ⅱ	2			2 ┐		0・2	
	美術Ⅰ	2	○	2 ┘			0・2	
	美術Ⅱ	2			2 ┘		0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ	4			2	2	4	
家庭	家庭基礎	2	◎	2			2	
情報	情報Ⅰ	2	◎	(2)			(2)	
共通教科・科目単位数合計				21	14	10・14	45・49	
家庭	生活産業基礎	2	◆	1	1		2	
	課題研究	2～4	◆*			3	3	
	生活産業情報	2～4	*	2			2	
	食文化	1～2	◇		1		1	
	調理	14	◇	3	7	4	14	
	栄養	3	◇		2	1	3	
	食品	2	◇*	2			2	
	食品衛生	5	◇		2	3	5	
	公衆衛生	3	◇*		2	1	3	
	総合調理実習	3	◇			3	3	
	食品開発		●			■4	0・4	
専門教科・科目単位数合計				8	15	15・19	38・42	
総合的な探究の時間		3～6	◎			(3)	(3)	
合計				29	29	29	87	
卒業までに修得すべき単位数				74				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週金曜日1校時
	生徒会活動（時間）			35	35	35	105	
				対面式、生徒総会(前期・後期)、壮行式、予選会、文化祭、クラスマッチ等				
	学校行事（時間）			56	76	46	178	
				入学式、創立記念式典、進路後援会、就業体験激励会、学校祭、戴帽式、学校見学会、修学旅行、保健講話、卒業・修了式等				
授業の1単位時間				50分				

備考

◆原則必履修科目
◇調理師資格取得のために必要な科目
＊代替科目のため必履修

３年時
□から１科目選択
■から１科目選択（「化学」は化学基礎を履修した者のみ選択できる）

理科
「化学基礎」、「生物基礎」から１科目選択

芸術
「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」から１科目選択
「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」から１科目選択
※「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」はそれぞれに対応するⅠを付した科目に引き続き履修

保健体育
「保健」は専門教科家庭「食品」「公衆衛生」で代替（１年時１単位、２年時１単位）

情報
「情報Ⅰ」は専門教科家庭「生活産業情報」で代替（１年時２単位）

総合的な探究の時間
「総合的な探究の時間」は専門教科家庭「課題研究」で代替（３年時３単位）

学校設定科目
「食品開発」：平成20年度開設

校外での実習「課題研究」３単位のうち２単位は、産業現場等における実習（３年時15日間実施）

全国高等学校家庭科技術検定食物調理２級に合格した者は、２年時の「調理」に１単位増単位する
全国高等学校家庭科技術検定食物調理１級に合格した者は、３年時の「調理」に２単位増単位する

2．福　祉　科（令和５・６・７年度入学生）

教　科	科　目	標準単位数		学年別単位数				備　考
（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）				１　年	２　年	３　年	計	
国　語	現代の国語	2	◎	2			2	◆原則必履修科目 ◇介護福祉士国家受験資格取得のために必要な科目 ＊代替科目のため必履修 ３年時 □から１科目選択 理科 「化学基礎」、「生物基礎」から１科目選択 芸術 「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」から１科目選択 保健体育 「保健」は専門教科福祉「社会福祉基礎」「こころとからだの理解」で代替（１年時１単位、２年時１単位） 情報 「情報Ⅰ」は専門教科福祉「福祉情報」で代替（１年時２単位） 総合的な探究の時間 「総合的な探究の時間」は専門教科福祉「介護総合演習」で代替（１年時１単位、２年時１単位、３年時１単位） 校外での実習「介護実習」は施設での実習 １年時１単位（５日間実施）２年時６単位（30日間実施）、３年時６単位（30日間実施） 赤十字救急法基礎講習及び救急員養成講習に合格した者は、３年時の「介護総合演習」に１単位増単位する
	言語文化	2	◎	2			2	
	論理国語	4			2	2	4	
地理歴史	地理総合	2	◎		2		2	
	歴史総合	2	◎			2	2	
公　民	公　共	2	◎◇	2			2	
	政治・経済	2				□2	0・2	
数　学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	
	数学発展 α		●		2		2	
	数学発展 β		●			□2	0・2	
理　科	科学と人間生活	2	◎	2			2	
	化学基礎	2	○		2 ┐		0・2	
	生物基礎	2	○		2 ┘		0・2	
保健体育	体　育	7〜8	◎	2	2	3	7	
	保　健	2	◎	(1)	(1)		(2)	
芸　術	音楽Ⅰ	2	○	2 ┐			0・2	
	美術Ⅰ	2	○	2 ┘			0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ	4			2	2	4	
家　庭	家庭基礎	2	◎◇	2			2	
情　報	情報Ⅰ	2	◎	(2)			(2)	
共通教科・科目単位数合計				20	12	11	43	
福　祉	社会福祉基礎	2〜6	◆◇＊	4			4	
	介護福祉基礎	2〜6	◇		2	3	5	
	コミュニケーション技術	2〜4	◇		2		2	
	生活支援技術	2〜12	◇	2	3	5	10	
	介護過程	2〜6	◇		2	2	4	
	介護総合演習	2〜3	◇＊	1	1	1	3	
	介護実習	4〜16	◇	1	6	6	13	
	こころとからだの理解	2〜8	◇＊	1	3	4	8	
	福祉情報	2〜4	＊	2			2	
専門教科・科目単位数合計				11	19	21	51	
総合的な探究の時間		3〜6	◎	(1)	(1)	(1)	(3)	
合　計				31	31	32	94	
卒業までに修得すべき単位数				74				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週金曜日１校時
	生徒会活動（時間）			35	35	35	105	
				対面式、生徒総会(前期・後期)、壮行式、予選会、文化祭、クラスマッチ等				
	学校行事（時間）			56	76	46	178	
				入学式、創立記念式典、進路後援会、就業体験激励会、学校祭、戴帽式、学校見学会、修学旅行、保健講話、卒業・修了式等				
授業の１単位時間				50分				

３．看　護　科（令和５・６・７年度入学生）

教科	科目（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）			標準単位数			高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	計
国語	現代の国語			2		◎	2					2
	言語文化			2		◎	2					2
	論理国語			4				2	3			5
地理歴史	地理総合			2		◎		2				2
	歴史総合			2		◎			2			2
公民	公共			2		◎	2					2
	政治・経済			2					□2			0・2
数学	数学Ⅰ			3		◎	3					3
	数学A			2				2				2
	数学発展α					●		2				2
	数学発展β					●			□2			0・2
理科	科学と人間生活			2		◎	2					2
	化学基礎			2		○			3			3
	生物基礎			2		◎		3				3
保健体育	体育			7～8		◎	3	2	2			7
	保健			2		◎	(1)	(1)				(2)
芸術	音楽Ⅰ			2		○		2┐				0・2
	美術Ⅰ			2		○		2┘				0・2
外国語	英語コミュニケーションⅠ			3		◎	3					3
	英語コミュニケーションⅡ			4				2	2			4
家庭	家庭基礎			2		◎	2					2
情報	情報Ⅰ			2		◎	(2)					(2)
共通教科・科目単位数合計							19	17	14			50
看護（高校）	基礎	看護情報		2	2～4	＊◇	2					2
		コミュニケーション			1	●◇	1					1
		化学基礎		2	(3)	◇			(3)			(3)
	専門基礎	人体の構造と機能		3～7	5	◇＊	1	2	2			5
		疾病の成り立ちと回復の促進		4～8	2	◇		1	1			2
		健康支援と社会保障制度		2～7	1	◇	1					1
	専門分野	基礎看護		2～11	8	◆◇＊	4	4	2			10
		在宅看護		2～4	1	◇＊		1				1
		成人看護		2～6	2	◇		1	1			2
		老年看護		2～4	1	◇			1			1
		小児看護		2～4	1	◇			1			1
		母性看護		2～4	1	◇			1			1
		看護臨地実習	基礎看護	10～21	4	◇＊	1	3				4
			成人・老年看護		6	◇			6			6
看護（専攻科）	基礎分野	科学的思考の基盤	小論文	10	1	◇				1		1
			統計学		1	◇				1		1
			情報科学		1	◇				1		1
			心理学		1	◇				1		1
		人間と生活・社会の理解	教育学		1	◇				1		1
			人間関係論		1	◇				1		1
			社会学		1	◇					1	1
			保健体育		1	◇				1		1
			英語		2	◇				1	1	2
	専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学	3～7	2	◇				2		2
			生化学（含栄養）		1	◇				1		1
		疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	4～8	1	◇				1		1
			疾病論		4	◇				3	2	5
			薬理学		1	◇				1		1
		健康支援と社会保障制度	関係法規	2～7	2	◇					2	2
			社会福祉		2	◇					2	2
			医療総論		1	◇					1	1
	専門分野	基礎看護学概論		2～11	1	◇				1		1
		基礎看護学方法論Ⅰ			1	◇				1		1
		基礎看護学方法論Ⅱ			2	◇				2		2
		基礎看護学方法論Ⅲ			1	◇					1	1
		地域・在宅看護概論		2～4	1	◇				1		1
		地域・在宅看護論Ⅰ			2	◇				2		2
		地域・在宅看護論Ⅱ			2	◇					2	2
		成人看護学方法論Ⅰ		2～6	2	◇				2		2
		成人看護学方法論Ⅱ			2	◇					2	2
		老年看護学方法論Ⅰ		2～4	2	◇				2		2
		老年看護学方法論Ⅱ			1	◇					1	1
		小児看護学方法論Ⅰ		2～4	2	◇				2		2
		小児看護学方法論Ⅱ			1	◇					1	1
		母性看護学方法論Ⅰ		2～4	2	◇				2		2
		母性看護学方法論Ⅱ			1	◇					1	1
		精神看護学概論		2～4	1	◇				1		1
		精神看護学方法論Ⅰ			2	◇				2		2
		精神看護学方法論Ⅱ			1	◇					1	1
		看護の統合と実践Ⅰ		2～4	2	◇				2		2
		看護の統合と実践Ⅱ			2	◇					2	2
		看護臨地実習	成人看護学	10～21	4	◇				2	2	4
			地域・在宅看護論		2	◇				2┐＊	2┐＋	2
			老年看護学		2	◇				2┤＊	2┤＋	2
			小児看護学		2	◇				2┤＊	2┤＋	2
			母性看護学		2	◇				2┘＊	2┘＋	2
			精神看護学		2	◇					2	2
			看護の統合と実践		2	◇				1	1	2
専門教科・科目単位数合計							10	12	15	41	31	109
総合的な探究の時間				3～6		◎	(1)	(1)	(1)			
合計							29	29	29	41	31	159
卒業までに修得すべき単位数							74			72		146
特別活動	ホームルーム活動						1	1	1	1	1	5
	生徒会活動（時間）						35	35	35			
							対面式、生徒総会（前期・後期）、壮行式、予選会、文化祭、クラスマッチ等					
	学校行事（時間）						56	76	46			
							入学式、創立記念式典、進路後援会、就業体験激励会、学校祭、戴帽式、学校見学会、修学旅行、保健講話、卒業・修了式等					
授業の１単位時間							50分					

備考

◆原則必履修科目
◇看護師国家試験受験資格取得のために必要な科目
＊代替科目のため必履修

高校
- ３年時
  □から１科目選択

化学基礎
- 「化学基礎」（３年時３単位）は、専門教科の基礎分野を兼ねる

芸術
- 「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」から１科目選択

保健体育
- 「保健」は専門教科看護「基礎看護」「人体の構造と機能」で代替（１年時１単位、２年時１単位）

情報
- 「情報Ⅰ」は専門教科看護「看護情報」で代替（１年時２単位）

総合的な探究の時間
- 「総合的な探究の時間」は専門教科看護「看護臨地実習」で代替（１年時１単位、２年時１単位、３年時１単位）

校外での実習「看護臨地実習」は病院での実習
１年時１単位（５日間実施）
２年時３単位（15日間実施）、３年時６単位（30日間実施）

学校設定科目
- 「コミュニケーション」：平成20年度開設
- 「数学発展α」「数学発展β」令和４年度開設

専攻科「看護臨地実習」
- ＊１年時に「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から１科目選択履修（２単位）
- ＋２年時に「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から１年時に選択しなかった３科目選択履修（６単位）

標準単位数（高校単位数／専攻科単位数）
人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、合わせて16（７／９）
健康支援と社会保障制度６（１／５）
看護情報２～４（２／０）
基礎看護12（８／４）
成人看護６（２／４）
老年看護４（１／３）
小児看護４（１／３）
母性看護４（１／３）
精神看護４（０／４）
地域・在宅看護論６（１／５）
看護の統合と実践４（０／４）
看護臨地実習26（10／16）

高校は毎週金曜日１校時

【別表】 看　護　科（令和５・６・７年度入学生）

指定規則（別表３－３）					教育課程の内容												
教育内容		単位数			高等学校		1年	2年	3年	単位合計	専攻科	1年		2年		単位合計	内容ごとの総単位数
		高等学校	専攻科	合計	教科	科目	単位	単位	単位		科目	単位	(時間)	単位	(時間)		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	6	10	16	国語	現代の国語	2			2	小論文	1	30			1	
						言語文化	2			2	統計学	1	30			1	
						論理国語		2	3	5	情報科学	1	15			1	
					地理歴史	地理総合		2		2	心理学	1	30			1	
						歴史総合			2	2	教育学	1	30			1	
					公民	公共	2			2	人間関係論	1	15			1	
						政治・経済			□2	0・2	社会学			1	30	1	
					数学	数学Ⅰ	3			3	保健体育	1	30			1	
						数学A		2		2	英語	1	30	1	30	2	
						数学発展α		2		2							
						数学発展β			□2	0・2							
					理科	科学と人間生活	2			2							
						化学基礎			3	3							
						生物基礎		3		3							
					保健体育	体育	3	2	2	7							
						保健	（基礎看護・人体の構造と機能で代替）										
					芸術	音楽Ⅰ		2		0・2							
						美術Ⅰ		2		0・2							
					外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3							
						英語コミュニケーションⅡ		2	2	4							
					家庭	家庭基礎	2			2							
					情報	情報Ⅰ	（看護情報で代替）										
					看護	看護情報	2			2							
						コミュニケーション	1			1							
						化学基礎			(3)	(3)							
	基礎分野合計	**6**	**10**	**16**		**基礎分野合計**	**22**	**17**	**14**	**53**	**基礎分野合計**	**8**	＼	**2**	＼	**10**	**63**
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	7	9	16	看護	人体の構造と機能	1	2	2	7	解剖生理学	2	60			10	17
						疾病の成り立ちと回復の促進		1	1		生化学（含栄養）	1	30				
											病理学	1	30				
											疾病論	3	90	2	60		
											薬理学	1	30				
	健康支援と社会保障制度	1	5	6	看護	健康支援と社会保障制度	1			1	関係法規			2	30	5	6
											社会福祉			2	30		
											医療総論			1	30		
	専門基礎分野合計	**8**	**14**	**22**		**専門基礎分野合計**	**2**	**3**	**3**	**8**	**専門基礎分野合計**	**8**	＼	**7**	＼	**15**	**23**
専門分野	基礎看護学	8	4	12	看護	基礎看護	4	4	2	10	基礎看護学概論	1	15			5	15
											基礎看護学方法論Ⅰ	1	30				
											基礎看護学方法論Ⅱ	2	60				
											基礎看護学方法論Ⅲ			1	45		
	地域・在宅看護論	1	5	6	看護	在宅看護		1		1	地域・在宅看護概論	1	15			5	6
											地域・在宅看護方法論Ⅰ	2	60				
											地域・在宅看護方法論Ⅱ			2	30		
	成人看護学	2	4	6	看護	成人看護		1	1	2	成人看護学方法論Ⅰ	2	60			4	6
											成人看護学方法論Ⅱ			2	60		
	老年看護学	1	3	4	看護	老年看護			1	1	老年看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											老年看護学方法論Ⅱ			1	30		
	小児看護学	1	3	4	看護	小児看護			1	1	小児看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											小児看護学方法論Ⅱ			1	30		
	母性看護学	1	3	4	看護	母性看護			1	1	母性看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											母性看護学方法論Ⅱ			1	30		
	精神看護学		4	4							精神看護学概論	1	30			4	4
											精神看護学方法論Ⅰ	2	60				
											精神看護学方法論Ⅱ			1	30		
	看護の統合と実践		4	4							看護の統合と実践Ⅰ	2	30			4	4
											看護の統合と実践Ⅱ			2	30		
	専門分野小計	**14**	**30**	**44**		**専門分野小計**	**4**	**6**	**6**	**16**	**専門分野小計**	**20**	＼	**11**	＼	**31**	**47**
臨地実習	基礎看護学	(3)		(3)	看護	基礎看護	1	3		4							4
	地域・在宅看護論		(2)	(2)							地域・在宅看護論	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	成人看護学 老年看護学	(2)	(2)	(4)	看護	成人・老年看護			6	6	成人看護学	2	70	2	70	6	12
											老年看護学	2*(2)	70	2*(2)	70		
	小児看護学		(2)	(2)							小児看護学	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	母性看護学		(2)	(2)							母性看護学	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	精神看護学		(2)	(2)							精神看護学			2	70	2	2
	看護の統合と実践		(2)	(2)							看護の統合と実践	1	35	1	35	2	2
	臨地実習小計	**10**	**16**	**26**		**臨地実習小計**	**1**	**3**	**6**	**10**	**臨地実習小計**	**5**	＼	**11**	＼	**16**	**26**
	専門分野合計	**24**	**46**	**70**		**専門分野合計**	**5**	**9**	**12**	**26**	**専門分野合計**	**25**	＼	**22**	＼	**47**	**73**
					総合的な探究の時間		（看護臨地実習で代替）										
					ホームルーム活動		1	1	1	3	ホームルーム活動	1		1		2	5
					そ　の　他												
合計		38	70	108	合計		30	30	30	90	合計	42	＼	32	＼	74	164

備考　①単位の計算方法は、高等学校においては、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）第1章第２　第１項の規定による。
②専攻科においては、大学設置基準第21条2項の規定の例による。
③「保健」２単位を「基礎看護」、「人体と看護」の２科目によって代替する。
④「情報Ⅰ」２単位を「看護情報」によって代替する。
⑤「総合的な探究の時間」を「看護臨地実習」によって代替する。
⑥学校設定科目として「コミュニケーション」を平成21年度に開設、「発展数学α」「発展数学β」を令和４年度に開設した。
⑦専攻科の「臨地実習」については、１年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「地域・在宅看護論」から１科目選択して履修（２単位）する。
⑧専攻科の「臨地実習」については、２年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「地域・在宅看護論」から１年次に選択したもの以外の３科目選択履修（６単位）する。

6．キャリア教育総合実践プログラム

校　　訓

「協 調・博 愛・奉 仕」

教　育　目　標

かけがえのない人の生命（いのち）を育む学科の特性を生かし、心身ともにたくましく心優しい思いやりのある生徒を育成する。

⑴　意欲を燃やし、自ら学び自ら考える力を育てる。
⑵　人間性を磨き、感謝と思いやりのある心を育てる。
⑶　個性を伸ばし、社会に貢献できる態度を育てる。

食 物 科

食物に関する専門的な知識と技術の習得を通じて豊かな人間性を育てるとともに、食生活の向上に貢献できる有為な人材を育成し、あわせて調理師免許を取得させる。

福 祉 科

福祉・介護に関する専門的な知識と技術の習得をとおして、豊かな人間性を育てるとともに、社会福祉の向上に貢献できる有為な人材を育成し、あわせて介護福祉士の資格を取得させる。

看 護 科

看護に関する理論と実践的能力の習得をとおして、豊かな人間性を育てるとともに、保健医療福祉の充実向上に貢献できる有為な人材を育成し、あわせて看護師免許を取得させる。

目　　標

	食　物　科	福　祉　科	看　護　科
1年【自己理解】基礎・基本を身に付ける時期	・食に関する興味・関心を深めさせる。 ・調理に関する基本的な知識・技術を身に付けさせる。 ・他者と協力して行動する態度を身に付けさせる。 ・調理師として必要な衛生面に気づかう態度を養わせる。 ・検定試験・コンテストへの取り組みをとおし、創造する力を育てる。 ・情報教育の基礎・基本を習得させ、情報モラルを身に付けさせる。 ・ボランティア活動をとおし、他者を思いやる心を育てる。	・福祉・介護に関する興味・関心を深めさせる。 ・福祉・介護に関する基本的な知識・技術を身に付けさせる。 ・基本的な日常生活・社会生活の常識を身に付けさせる。 ・ボランティア活動に積極的に参加し、地域との交流を図りながら、地域社会に貢献する態度を身に付けさせる。 ・情報教育の基礎・基本を習得させ、情報モラルを身に付けさせる。	・看護に関する興味・関心を深めさせる。 ・人体の構造や機能について理解させ、基本的な日常生活援助について学ばせる。 ・他者に対する思いやりや気づきの心を育てる。 ・基本的な日常生活のマナーを身に付けさせる。 ・病院とはどのようなものかを理解させる。 ・看護実践に必要なICT活用能力と情報モラルを身に付けさせる。 ・地域医療体験セミナーやボランティア活動等をとおし、地域の保健医療福祉に関心を持たせ、社会に貢献する態度を身に付けさせる。
	・自分自身を正しく理解し、社会的・職業的自立のために必要な基盤とされる能力を育てる。（進路） ・特別活動や部活動、各種行事を通じて、集団における自己存在の意味を深く考えるとともに、基本的な生活習慣や社会性を養う。（生徒） ・特別活動をとおして職業観を育成する中で、専門教科の学習で知識・技術を身に付ける重要性を理解させる。（教務） ・共通教科や専門教科の学習をとおして、目指す職業において必要な思考力、判断力、コミュニケーション力を身に付けさせる。（教務） ・資格取得に必要な知識・技術を修得するために、家庭学習習慣の必要性を認識させ身に付けさせる。（教務）		

2年【自己伸長】 自己を見つめ、可能性を発展させる時期	・食物の学習をとおし、自ら学び自ら考える姿勢を持たせる。 ・調理する喜びと感謝の心を養う。 ・集団調理をとおし、自ら進んで課題を見つけ積極的に行動する態度を育てる。 ・学校家庭クラブ活動や産業社会へ積極的に取り組ませることにより、創造、愛情、奉仕の心を育てる。 ・学んだことを具体的に表現できる力を育てる。 ・検定試験・コンテストへの取り組みをとおし、生活を豊かにするための能力と態度を育てる。 ・ボランティア活動をとおし、自ら進んで社会に貢献する態度を身に付けさせる。	・福祉･介護に関し、自ら学び考える姿勢を持たせる。 ・介護福祉士に大切な姿勢や倫理観を身に付けさせる。 ・介護実習の中で、自ら進んで課題を見つけ積極的に行動する態度を育てる。 ・介護実習をとおして、利用者・他職員との関わり方を学びコミュニケーション能力を育てる。 ・ボランティア活動をとおし、自ら進んで地域社会に貢献する態度を身に付けさせる。 ・福祉・介護に関するスペシャリストとしての自覚を育てる。 ・ICTを積極的に活用し、プレゼンテーション能力を身に付けさせる。	・看護に関し、自ら学び考える姿勢を持たせる。 ・看護師に必要な態度と倫理観を身に付けさせる。 ・科学的な根拠に基づいた基礎看護技術を習得させる。 ・臨地実習をとおし、人と人との関わりを学び、コミュニケーション能力を育てる。 ・人と人との関わりをとおし、他者への思いやり、気づきのある心を育てる。 ・地域医療体験セミナーやボランティア活動等をとおし、地域の保健医療福祉に関心を持たせ、社会に貢献する態度を身に付けさせる。 ・既習の知識および技術を発展させ、問題解決能力を養う。
	・自分が目指すべき将来像を具体化し、希望に沿った情報収集をさせる。（進路） ・特別活動や部活動、各種行事等を通じた集団との積極的な関わりの中で、自己の集団における役割やその意義を知り、個性や能力を伸長させる。（生徒） ・基本的生活習慣や社会性が一般社会を生きる上で必要不可欠なものであることを認識させる。（生徒） ・専門教科で学ぶ知識・技術を高め、実習等での状況判断を通して思考力、判断力、コミュニケーション力を高める。（教務） ・見通しをもって計画を立てる習慣を定着させることで、主体的に学びに向かう力を身に付けさせる。（教務）		
3年【自己実現】 1、2年生の学習を踏まえた選択、決定の時期	・食物の学習成果を進路実現につなげさせる。 ・調理師として必要な高度な知識･技術を習得させる。 ・職場実習をとおし、調理師としての仕事を理解させる。 ・社会人として必要なマナーおよびコミュニケーション力を身に付けさせる。 ・検定試験・コンテストへの取り組みを通し、社会の一員として食に関する知識・技術を活用する能力を育てる。 ・社会の食に対するニーズをとらえ、ICT等を活用し解決方法を考え、提案できる力を育てる。 ・ボランティア活動をとおし、学校･地域社会との連携を踏まえながら、食育推進を図る態度を身に付けさせる。 ・地域･企業･大学等の連携を密にし、食品を開発する力を付け、食のスペシャリストとしての人材を育てる。	・福祉・介護に関する学習成果を自己の進路実現につなげさせる。 ・介護福祉士として高度な知識・技術を習得させる。 ・福祉・介護の専門職として求められるコミュニケーション能力を確立させる。 ・ボランティア活動をとおし、地域の課題に目を向け、福祉の推進と向上に貢献できる姿勢を身に付けさせる。 ・新しい時代に対応したメディアリテラシーを身に付けさせ、社会的課題の解決を目指す力を育成する。	・専攻科との交流を通じて専攻科の理解を深めさせる。 ・個別性のある患者の状態を把握する知識・技術を学ばせる。 ・戴帽式をとおし、看護に対する意識を高める。 ・臨地実習などをとおして、看護する喜びを得るとともに、看護者としての洞察力を高め、看護観を確立させる。 ・人間対人間の相互関係を培い、優しさ・思いやり・誠実さ・責任感を育てる。 ・社会の変化に伴い、保健医療福祉チームの一員としての役割を自覚し、地域社会に貢献する態度を身に付けさせる。
	・進路設計を具体化し、進路を実現させる。（食物・福祉　進路） ・将来のための基礎学力、人間性をしっかり身に付けさせる。（看護　進路） ・自己の個性や能力、社会性を客観的かつ的確に把握した中で、進路を実現させる。（生徒） ・社会的・職業的自立に向けて、適切な情報を収集させる。（進路） ・身につけた知識、技術と、思考力、判断力、コミュニケーション力を実習でさらに高めながら、資格取得後の進路を見つめ各自の課題に主体的に挑戦しつづける態度を身に付けさせる。（教務）		

専攻科1年	・看護過程の展開をとおして、個別性のある対象の理解をさせる。 ・既習の知識や技術を発展させ、問題解決能力を身に付けさせる。 ・異年齢、多職種とのかかわりの中から社会人としてのコミュニケーション力を確立させる。 ・看護における課題に対しICT等を活用した解決方法（統計処理等）を考え、効果的にプレゼンテーションを行う能力を身に付けさせる。 ・修了後の将来像を具体化し、自らの希望に沿った情報収集をさせる。（進路） ・臨地実習を通し、高校３年間で身につけた力をさらに高めるとともに看護者としての人間性を涵養する。（教務）
専攻科2年	・看護師免許を取得させる。 ・社会人としてのマナーを身に付けさせる。 ・これまで培ったコミュニケーション力を活かし、社会人として、医療職者としてのコミュニケーション力を向上させる。 ・進路設計を具体化し、自らの希望を実現させる。（進路） ・修了後の進路を見通して、自分の適性を見据えた主体的な進路選択を出来るようにさせる。（教務） ・これまで学んだことの集大成として意欲的に看護研究に取り組ませる。（教務）

7．令和７年度　山形県立山辺高等学校道徳教育全体計画

令和７年４月

地域や生徒の実態

町に唯一の高校として設立当初より地域の支援を受けてきた。また少子高齢化の進む社会の要請に応え学科が設置されている。本校生徒は県内一円から入学し、将来の職業についての目的意識が高く、学びの動機付けとなっている。

学校の教育目標

《かけがえのない人の生命を育む学科の特性を生かし、心身ともにたくましく心優しい思いやりのある生徒を育成する》

1　意欲を燃やし、自ら学び自ら考える力を育てる
2　人間性を磨き、感謝と思いやりのある心を育てる
3　個性を伸ばし、社会に貢献できる態度を育てる

道徳教育の推進体制

総　務　課

・地域との連携を推進し、生徒に豊かな人間性を身につけさせる
・ホームページなどを活用し、情報発信を推進する

教　務　課

・学習環境を整備し、学習意欲を喚起する
・読書を通して豊かな人間性を育てる

生　徒　課

・基本的生活習慣を身につけることで、自律・健康・安全の精神を養う
・環境の整備とその美化に努め奉仕的精神を涵養する

進　路　課

・生涯を通じたキャリア教育の推進を踏まえ、将来設計に基づく進路実現を図る

学科目標

食物科	専門的な知識・技術の習得を通して豊かな人間性と社会に貢献できる態度を育てる
福祉科	専門的な知識・技術の習得を通して豊かな人間性、思いやりのある態度を育てる
看護科	専門的な知識・技術の習得を通して豊かな人間性と看護の心を育てる

学年目標

１学年	特別活動や校内外の活動に取り組み幅広い社会性や公共性を培う
２学年	中堅学年としての自覚を持ち、調和のとれた人間形成を図る
３学年	社会人としてのマナーや常識を身につけ、自立性を高める

各教科・科目

国語科	国語の学習を通して思考力を高め、他人を思いやる豊かな心情を養う
地歴科	日本や世界の地理・歴史への理解を深め、他者や他文化を尊重する態度を育てる
公民科	民主的かつ公正な社会を形成するために必要な主権者としての資質を養う
数学科	数学的活動を通して、創造性の基礎を培うとともに、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる
理科	自然の事物・現象を科学的に探究する能力を養い、科学的な自然観を身につける
保体科	各競技のルールを理解し公正・公平な態度を育成する
芸術科	生涯にわたって芸術を愛好する心情を育成し、豊かな情操を養う
英語科	異文化に対する関心を深め、自国との相違を認め尊重する態度を育成する
家庭科	専門的な知識や技術を身につけ感性豊かな人間性を養う
福祉科	専門的な知識や技術を身につけ問題解決能力を育てる
看護科	専門的な知識や技術を身につけ、看護の心を育てる 他者との関わりを通して豊かな人間性を養う

道徳教育の重点目標

《生命を尊重する態度を育成し、豊かな人間性を身につける》

1　生命に対する尊敬の気持ちを育み、思いやりのある豊かな心を育成する
2　自らの生き方を主体的に考え、自己肯定感を醸成する
3　地域との連携を通して、社会の発展に貢献できる資質を育てる

学校環境の充実

・校舎内外の美化活動を推進し、公共の精神を育てる
・豊かな人間性と幅広い教養を育む資料を充実させ、読書の意欲を育てる

学校の特色ある活動との関連

・町との連携事業に参画することにより、郷土を愛する心を育てる

家庭･地域との連携

・保護者に本校の教育活動を知ってもらうため、PTA活動（全校･学年）への積極的な参加を促進する
・ホームページなどを活用し、学校の情報公開に努めるとともに、学校評議員などとの連携を図る

特別活動

ホームルーム活動
・よりよい人間関係を構築する
・自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる
・社会の一員としての自己の生き方を探求する

生徒会活動
・集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画し、協力する態度を育てる

学校行事
・集団への所属感や連帯感を深め公共の精神を養う

総合的な探究の時間（専門科目で代替）

実習を通して人と接し思いやりのある豊かな心を育て、専門技術を身につけ職業観を育成する

異校種との連携

- 地域の小学校や中学校と食育活動を通し連携を図る
- 特別支援学校との交流授業を通し障がいの理解を図る
- 幼稚園での保育体験と山形盲学校との交流を通し慈しむ心を育てる

8. 教 職 員 等

1. 教職員構成

職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	非常勤講師	主任実習教諭	実習教諭	実習講師	事務長	事務次長	主査	学校司書	シニア主任技能員	学校技能員	校務補助員	事務補助	計
人数	1	1	27	1	2	9	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	55

2. 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌		
			学年・担任等	課	部顧問
校長	高橋 久美子	家庭			
教頭	井家 千代美	数学			
教諭	加藤 恭彦	国語		情報化主任・教務課	ソフトテニス
教諭	片山 美香	国語	2年3組担任	生徒課	報道
教諭	森谷 昌央	地歴公民		教務課主任	陸上競技
教諭	工藤 良仁	地歴公民		進路課	美術
教諭	髙橋 輝晃	数学	3年1組担任	教務課	バドミントン
教諭	加藤 文範	理科	1学年主任	総務課	ソフトボール
教諭	渡邉 有里	理科		教務課	被服
教諭	飛鳥 陽子	保健体育	3学年主任	進路課	バスケットボール
教諭	木下 光之	保健体育		生徒課主任	柔道
教諭	沼澤 留美	芸術	2学年主任	総務課	マンドリン
教諭	嵐田 和男	英語		進路課主任	マンドリン
講師	今田 廣幸	英語		総務課	バスケットボール
教諭	久間木 亮太	家庭	2年1組担任	進路課	食物
教諭	垂石 冴夏	家庭	1年1組担任	生徒課	卓球
教諭	佐藤 吉	家庭		家庭科主任・生徒課	食物
講師	難波 睦子	家庭	3学年副担任	総務課	被服
教諭	今崎 絵理	福祉		福祉科主任・総務課	部活外顧問
教諭	佐山 佳子	福祉	3年2組担任	進路課	部活外顧問
教諭	丸山 瞳	福祉	1年2組担任	進路課	報道
教諭	佐々木 知可	福祉	2年2組担任	教務課	バドミントン
教諭	朝倉 浩子	看護		総務科主任	華道
教諭	井上 淳子	看護	3年3組担任	生徒課	柔道
教諭	小林 淳子	看護		保健主事・生徒課	美術
教諭	髙橋 美由希	看護		看護科主任・生徒課	ソフトボール
教諭	渡邉 ゆかり	看護	専攻科2学年担任	教務課	書道
教諭	佐直 洋子	看護	専攻科2学年副担任	教務課	華道
教諭	大沢 幸子	看護	1年3組担任	教務課	バレーボール
教諭	髙橋 瑞生	看護	専攻科1学年担任	生徒課	ソフトテニス
教諭	武田 美代子	看護	専攻科1学年副担任	教務課	茶道

職　名	氏　　名	担　当 教　科	校　務　分　掌		
			学年・担任等	課	部　顧　問
養護教諭	柴　田　祥　加			生　徒　課	
主任実習教諭	加　藤　み　き	看　　護	２学年副担任	総　務　課	茶　　道
実習教諭	伊　藤　　薫	看　　護		教　務　課	バレーボール
実習教諭	海老名　智　美	福　　祉		生　徒　課	卓　　球
実習教諭	森　岡　知　湖	看　　護		進　路　課	書　　道
実習教諭	堀　川　　茜	家　　庭		教　務　課	食　　物
実習講師	菅　原　美　加	看　　護		生　徒　課	陸　上　競　技
非常勤講師	伊　勢　幹　彦	保健体育			
非常勤講師	公　平　忠　明	芸　　術			
非常勤講師	武　田　健　雄	家　　庭			
非常勤講師	保　科　　仁	家　　庭			
非常勤講師	井　上　和　茂	家　　庭			
非常勤講師	毛　利　洸　太	家　　庭			
非常勤講師	斎　藤　幸　子	福　　祉			
非常勤講師	田　中　久美子	福　　祉			
非常勤講師	熊　坂　　仁	数　　学			
事務長	杉　沼　　智				
事務次長	五十嵐　俊　之				
主　　査	小　松　裕　行				
学校司書	井　上　稚　子			教　務　課	
シニア主任技能員	丹　野　誠　一				
学校技能員	松　木　孝　志				
校務補助員	天　口　美佐子				
事務補助	松　島　初　子				

３．学　校　医

学校医（内　科）	三　橋　秀　輝
学校医（耳鼻科）	武　田　一　彦
学校医（眼　科）	三　橋　玉　絵
学校歯科医	花　岡　裕　紀
学校薬剤師	安　井　　浩

４．学校評議員

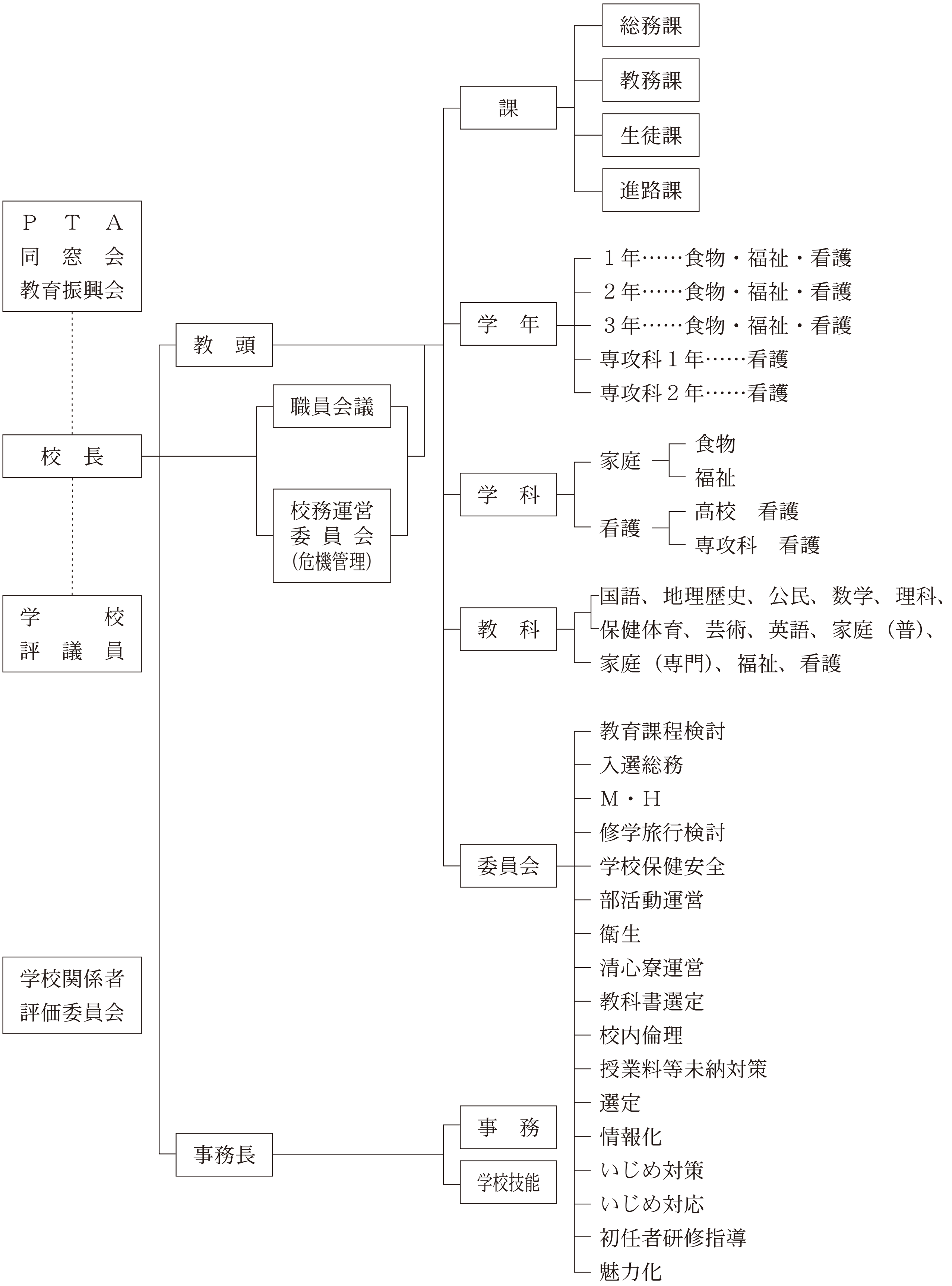
佐　藤　春　美	山辺町保健福祉課長
岡　田　まさえ	山形給食センター給食経営管理部部長
大　泉　克　仁	特別養護老人ホームやまのべ荘施設長
吉　田　宏　井	山形県立中央病院副看護部長
髙　内　浩　子	山辺町社会福祉協議会事務局長

５．学校関係者評価委員

佐　藤　春　美	学校評議員と兼務
岡　田　まさえ	〃
砂　押　哲　也	〃
吉　田　宏　井	〃
髙　内　浩　子	〃
川　井　　博	ＰＴＡ会長
森　谷　修　二	ＰＴＡ副会長

9．学校運営組織と校務分掌

1．学校運営組織図



10. 生 徒 の 概 況

1．学年・学科別生徒数

課　　程	学　　科	学年 1　年	学年 2　年	学年 3　年	女子	男子	合計
全　日　制	食　　物	38 (4)	27 (6)	38 (3)	90	13	103
	福　　祉	9 (0)	20 (3)	18 (1)	43	4	47
	看　　護	35 (0)	30 (0)	42 (0)	107	0	107
	合　計	82 (4)	77 (9)	98 (4)	240	17	257

（　）は男子

2．出身中学校別生徒数

市　郡　名	中学校名	1の1	1の2	1の3	2の1	2の2	2の3	3の1	3の2	3の3	計
山　形　市	山　形　一	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	山　形　二	5	1	2	3	0	2	2	0	4	19
	山　形　三	2	0	0	1	2	0	1	1	3	10
	山　形　四	2	0	1	2	5	1	1	0	2	14
	山　形　五	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3
	山　形　六	0	0	4	1	1	1	1	0	3	11
	山　形　七	1	0	0	0	1	2	0	1	0	5
	山　形　八	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	山　形　九	1	0	1	2	0	1	1	0	1	7
	山　形　十	5	0	1	0	0	3	1	1	3	14
	金　　井	1	0	0	5	1	2	6	2	1	18
	高　　楯	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	蔵　王　一	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	山　　寺	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	山　形　聾	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	山大附属	1	0	2	0	0	0	1	0	0	4
上　山　市	上　山　南	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	上　山　北	1	0	0	0	0	1	4	0	0	6
	宮　　川	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
天　童　市	天　童　一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	天　童　二	0	0	2	0	0	0	1	0	3	6
	天　童　三	2	1	3	2	0	1	0	0	1	10
	天　童　四	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
東村山郡	山　　辺	1	2	0	3	2	2	2	2	4	18
	中　　山	3	0	0	2	1	0	2	2	2	12
寒河江市	陵　　東	2	1	1	1	0	1	1	1	1	9
	陵　　南	2	1	4	1	3	1	0	1	1	14
	陵　　西	2	0	0	0	0	0	2	0	4	8

市　郡　名	中学校名	1の1	1の2	1の3	2の1	2の2	2の3	3の1	3の2	3の3	計
西村山郡	河　　北	1	0	2	2	2	0	5	3	0	15
	西　　川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝　　日	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	大　　江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村　山　市	楯　　岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	葉　　山	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
東　根　市	東　根　一	1	2	0	0	0	0	2	0	0	5
	東　根　二	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東　根　三	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神　　町	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
尾花沢市	尾　花　沢	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	福　　原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新　庄　市	新　　庄	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	萩　　野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	明　　倫	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	日　　新	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	八　　向	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
最　上　郡	最　　上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	戸　　沢	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	舟　　形	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	金　　山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米　沢　市	米　沢　一	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	米　沢　三	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	米　沢　四	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	米　沢　五	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
南　陽　市	宮　　内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	沖　　郷	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	赤　　湯	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
東置賜郡	高　　畠	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	川　　西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長　井　市	長　井　南	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
西置賜郡	白　　鷹	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	飯　　豊	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
鶴　岡　市	鶴　岡　三	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	櫛　　引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飽　海　郡	三　　川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		38	9	35	27	20	30	38	18	42	257

３．市町村別生徒数

市町村名	１の１	１の２	１の３	２の１	２の２	２の３	３の１	３の２	３の３	計
山形市	21	1	15	15	10	14	15	7	20	118
上山市	1	0	0	0	1	2	4	0	2	10
天童市	2	1	5	2	0	1	1	1	4	17
山辺町	1	2	0	4	2	2	2	2	4	19
中山町	3	0	0	2	1	0	2	2	1	11
寒河江市	5	2	5	1	3	2	3	2	7	30
河北町	1	0	2	2	2	0	5	3	0	15
西川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
大江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村山市	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
東根市	2	2	0	0	0	1	3	0	0	8
尾花沢市	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
大石田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新庄市	0	0	1	0	0	2	1	1	0	5
舟形町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真室川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
戸沢村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
米沢市	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4
長井市	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
高畠町	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白鷹町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
南陽市	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
飯豊町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
酒田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県岩沼市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	38	9	35	27	20	30	38	18	42	257

４．通　学　状　況…（現在（春）の通学方法で）

⑴　利用交通機関

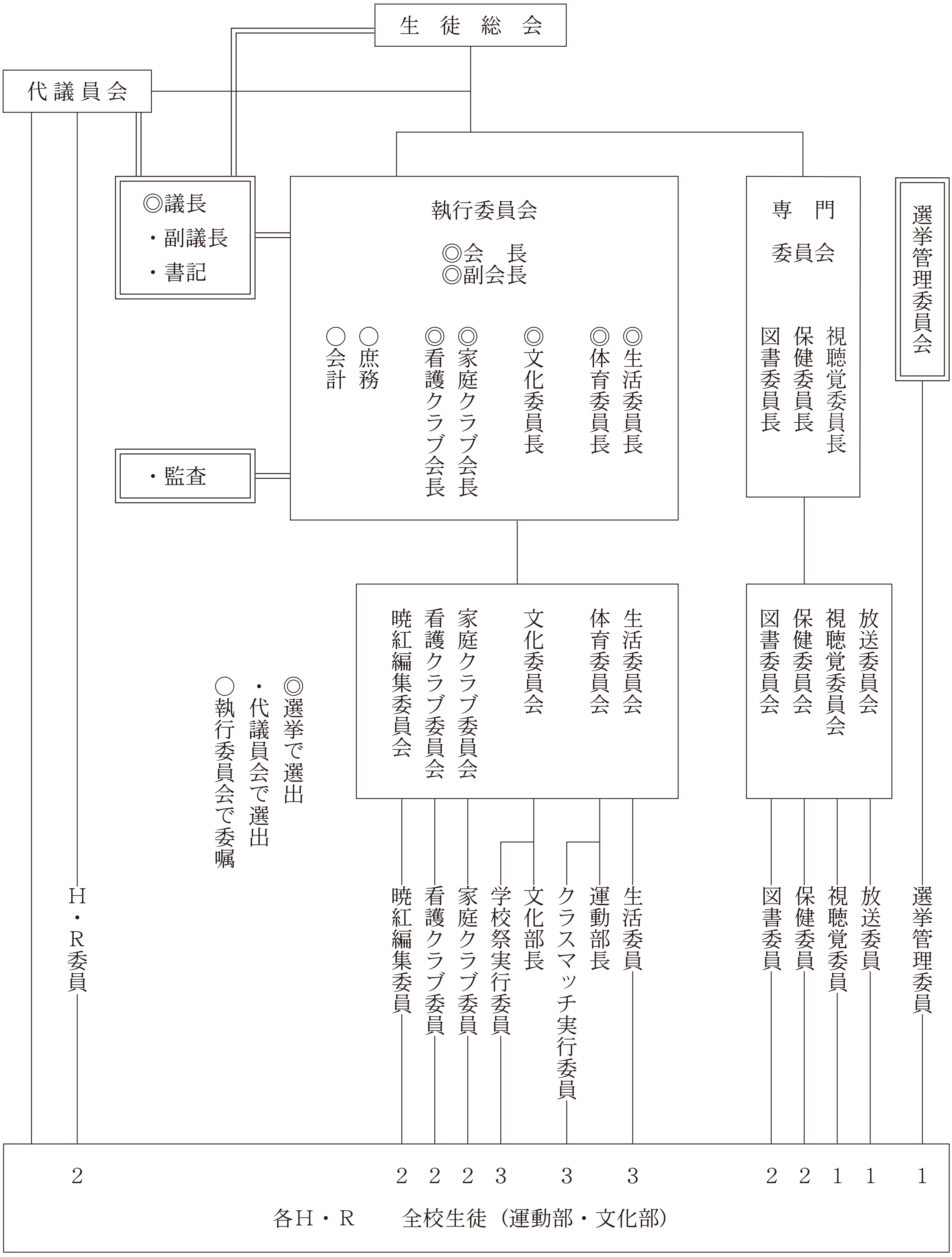
方法 ＼ クラス		１の１	１の２	１の３	２の１	２の２	２の３	３の１	３の２	３の３	計
列車	山形方面	21	2	19	15	9	20	15	7	24	132
	寒河江方面	10	3	8	6	6	2	10	8	9	62
バス		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自転車		4	1	3	3	4	0	8	1	3	27
徒歩		2	3	5	2	0	8	5	2	6	33
その他		0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
計		38	9	35	27	20	30	38	18	42	257

⑵　寮生・止宿生

クラス	１の１	１の２	１の３	２の１	２の２	２の３	３の１	３の２	３の３	計
寮生	1	1	5	0	0	5	2	0	2	16
止宿生	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3

11. 生　　徒　　会

1. 生徒会組織図



2．部活動加入状況

（　）は男子数

部活動名	人数			
	1年	2年	3年	合計
柔道	4	3 (1)	4 (1)	11 (2)
バスケットボール	6	2	4	12
バレーボール	1	3	3	7
卓球	2	2	2	6
バドミントン	6 (1)	4 (1)	5	15 (2)
ソフトテニス	2	7	5	14
陸上競技	4	1	4	9
ソフトボール	2	4	1	7
運動部合計	27 (1)	26 (2)	28 (1)	81 (4)
マンドリン	4	4	10	18
報道	2 (1)	1 (1)	18	21 (2)
書道	1	2	10	13
茶道	6	5	7	18
華道	1	4	6	11
食物	8 (2)	10 (4)	12 (3)	30 (9)
被服	3	2	1	6
美術	4	5	0	9
文化部合計	29 (3)	33 (5)	64 (3)	126 (11)
総計	56 (4)	59 (7)	92 (4)	207 (15)

12. 進　路　状　況

1．令和６年度進路状況

（令和７年３月31日現在）

進路＼学科		食　物　科	福　祉　科	看　護　科	計
就職	県　内	7	9	0	16
	県　外	1	1	0	2
進学	四年制大学	7	3	0	10
	短期大学	2	0	0	2
	専　攻　科	0	0	25	25
	専修学校・各種学校等	14	2	0	16
その他（未定含む）		1	0	0	1
計（在籍）		32	15	25	72

2．過去３年間の進学状況

《食物科・福祉科》

	進　学　先	令４	令５	令６
４年制大学	青森県立保健大学	1		
	東北文教大学	3		
	東北芸術工科大学	1		1
	東北公益文科大学	2		
	東北福祉大学	5		1
	仙台白百合女子大学	2		2
	東北生活文化大学		3	4
	宮城学院女子大学	4	1	
	尚絅学院大学	1	1	1
	東北文化学園大学		1	1
	郡山女子大学	1		
	新潟医療福祉大学		2	
	常磐大学	1		
	和洋女子大学		1	
	東京医療保健大学	1		
	相模女子大学	2		
	大　学　計	24	9	10
短期大学	羽陽学園短期大学		2	
	東北文教大学短期大学部	1	1	
	仙台青葉学院短期大学	4		2
	東北生活文化大学短期大学部	1		
	郡山女子大学短期大学部		1	
	会津大学短期大学部		1	
	短　大　計	6	5	2

	進　学　先	令４	令５	令６
専修学校・各種学校等	山形厚生看護学校	1	1	1
	国立病院機構山形病院附属看護学校		1	
	山形医療技術専門学校	5	1	2
	山形歯科専門学校	2		
	仙台保健福祉専門学校		2	
	仙台医療秘書福祉専門学校	1		
	仙台接骨医療専門学校	1		
	宮城調理製菓専門学校	1	1	5
	仙台スイーツ&カフェ専門学校		2	
	仙台医健スポーツ専門学校		1	
	仙台理容美容専門学校	1		
	葵会仙台看護専門学校			1
	仙台ウェディング&ブライダル専門学校		2	
	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ	1		
	足利製菓専門学校		1	
	辻調理師専門学校東京		2	2
	レコールバンタン東京校			1
	東京山手調理師専門学校			1
	東京ITプログラミング&会計専門学校		1	
	東京ビューティーアート専門学校		1	
	東京ベルエポック美容専門学校			1
	国際フード製菓専門学校			1
	新潟県立新発田病院附属看護専門学校		1	
	京都製菓製パン技術専門学校		1	1
	ＮＳＣ養成所東京校	1		
	専修学校・各種学校等　計	14	18	16
合　計		44	32	28

《看護科》

地区	進学先	令和4年度	令和5年度	令和6年度
県内	山形県立山辺高等学校専攻科	40	39	25
合計		40	39	25

3．過去3年間の就職状況

⑴ 職種別

職種＼年度・地域	令和4年度 県内	令和4年度 県外	令和5年度 県内	令和5年度 県外	令和6年度 県内	令和6年度 県外
事務						
介護	9	2	5		9	1
販売						
調理	6	2	2	2	4	
食品製造	6	1	2		3	
サービス	1	2	1			1
医療						
その他						
合計	22	7	10	2	16	2

※（　）内の数字は製造を兼ねる

⑵ 地域別

地区＼年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
県内	山辺町			1
	山形市	10	7	7
	寒河江市	1		2
	天童市	1		1
	上山市	3	1	1
	米沢市			
	その他	7	2	4
県外	東京都	2		
	宮城県	3	2	1
	その他	2		1
合計		29	12	18

⑶ 令和6年度卒業生の就職先

（　）内の数字は人数

			県内　16名	県外　2名
就職	食物科	調理	株式会社 旅館古窯 株式会社 利久 有限会社 山形五十番飯店 上海厨房 協同組合 山形給食センター	
		食品製造等	株式会社 シベール ⑶	
		事務・その他		株式会社 グランベルホテル（福島）

就職	福祉科	介　護　職	社会福祉法人 悠愛会 社会福祉法人 河北福祉会 社会福祉法人 松寿会 (2) 社会福祉法人 新寿会 社会福祉法人 西川保健福祉会 社会福祉法人 山形県済生会 社会福祉法人 朝日敬慎会 社会福祉法人 豊裕会	医療法人社団 緑愛会（宮城）
		事務・その他		

13. 図　　書　　館

1. 蔵　　　書

令和６年度分類別蔵書冊数（Ｒ７．３．31）

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術（家政）	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	計
蔵書数	932	1,242	1,870	2,980	3,649	1,751	437	2,121	750	11,873	27,605

定期購読誌（新聞０　雑誌15）

14. 学校保健・学校安全

1．令和７年度学校保健計画

山形県立山辺高等学校

区分／月	月の重点	学校保健関係行事	保健管理		保健教育					組織活動
					保健学習	保健指導				
			対人管理	対物管理	関連教科	LHR 健康や安全に関すること	学年	生徒会活動	SHR	
4	・健康診断を受け、健康状態を把握する。 ・学習環境を整備する。	・定期健康診断	・保健関係公簿の整理と実施と事後措置 ・定期健康診断の計画 ・保健調査票の整理 ・健康相談 ・健康観察 ・アレルギー疾患生徒の把握と対応の仕方 ・職員健康診断	・薬品および衛生用品の整備充実 ・保健室の整備 ・環境検査 ・施設等の点検 ・大掃除 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充①	「健康支援と社会保障」 ・心の働きと発達 ・各種の病原微生物の特徴 「基礎看護」 ・環境・健康とは ・現代社会と疾病 「老年看護」「成人看護」 ・成人の特徴 ・老年期の生活と健康 「小児看護」 ・子どもの成長と発達 「コミュニケーション」	・健康診断の目的とその活用 ・基本的生活習慣のあり方について	1 2 3	・保健委員会 ・年間活動計画役割分担 ・定期健康診断の補助役員	・保健室の利用 ・健康診断の目的 ・朝食の摂取徹底 ・清掃指導	・PTA総会 ・PTA研修会
5	・病気の予防と早期治療を行う	・定期健康診断 ・スクールカウンセリング	・定期健康診断の実施と治療勧告 ・健康状態把握 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・清掃区域の分担割り当て・用具補充②	・コミュニケーションの意義 ・コミュニケーションの基本センス 「公衆衛生」 「栄養」 ・栄養素の機能と健康 「家庭基礎」 ・食生活 「食文化」 ・食と食文化	・コミュニケーションのとり方 ・食文化を知ろう	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動	・人間関係のあり方 ・五月病 ・睡眠時間の確保 ・健康診断事後指導	・保護者への食育指導 ・福祉協議会と連携して弁当計画 ・高齢者との料理教室
6	・梅雨期の健康管理とう歯の予防を行う	・水質検査 ・スクールカウンセリング ・救急法講習会（AED）	・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談 ・学校生活アンケート①（高校）	・校内環境整備 ・校内衛生検査 ・水質検査 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充③	「食品衛生」 ・食品と微生物 ・食の安全と衛生 「公衆衛生」 ・健康づくり 「こころとからだの理解」 ・健康とは ・こころのしくみを理解する 「コミュニケーション技術」 ・コミュニケーション 「基礎看護」 ・看護の対象の理解 「健康支援と社会保障」	・歯肉炎の予防 ・高校生の心身の健康を考える ・男女交際を考える ・性情報の賢い選択 ・マイリノティを考える ・性行為感染症 ・心肺蘇生法について ・熱中症予防	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動	・う歯の治療 ・下着の大切さ ・自己の体調管理	・AED講習会 ・食中毒予防指導 ・中高連携による食育指導
7	・定期健康診断結果の受診指導を行う	・大掃除 ・救急法講習会 ・スクールカウンセリング	・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談 ・大掃除	・大掃除	・心の健康とは ・心の健康 ・人間の生活と健康 「老年看護」 ・高齢者を取り巻く社会と生活の理解	・薬物乱用について ・熱中症予防	1 2 3	・保健委員会 ・清掃用具の点検補充 ・救急法講習会	・救急法	・救急法講習会（AED）
8	・夏を健康で元気に過ごす	・大掃除 ・スクールカウンセリング	・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談 ・蒼潤祭衛生指導	・大掃除 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充④	・老人と保健･医療･福祉サービス 「人体の機能と構造」 ・体の働き 「小児看護」 ・小児各期の健康増進のための看護 「母性看護」	・社会生活と自立を考える ・熱中症予防	3	展示発表		・食中毒予防指導 ・校外巡視
9	・心身の自己管理を行う	・修学旅行前健康相談 ・スクールカウンセリング ・薬物乱用防止教室（１年） ・ダニアレルゲン検査	・修学旅行前健康調査 ・修学旅行前健康相談 ・治療状況調査 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談 ・学校生活アンケート（専攻科）	・校外環境整備 ・大掃除 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充⑤	・人間の性と生殖 「食文化」 ・日本の食文化 「食品衛生」 ・飲食による健康被害について ・食中毒について 「公衆衛生」 ・食生活と疾病 ・加齢と健康 ・環境保健 「こころとからだの理解」	・基本的な生活習慣の見直し ・熱中症予防	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動	・夏バテ解消 ・修学旅行	・防災訓練（寮） ・子供料理教室開催
10	・目を大切にする	・修学旅行 ・スクールカウンセリング	・健康の増進 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・清掃区域の分担割り当て・用具補充⑥	・からだのしくみを理解する ・人間の成長と発達 「生活支援技術」 ・居住環境の整備 「健康支援と社会保障」 ・人々の生活と健康 ・精神保健活動 「コミュニケーション」	・眼の大切さ	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・蒼潤祭一般公開	・眼の健康 ・運動の必要性	・郷土料理講習会 ・福祉協議会と連携して弁当計画 ・高齢者との料理教室
11	・心の健康に努める	・スクールカウンセリング	・性教育講話（１年） ・健康の増進 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・校内環境整備 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充⑦	・コミュニケーションの技術 「基礎看護」 ・人間にとっての健康 「成人看護･老年看護」 ・成人･老人に特有な健康問題の特徴 「食品衛生」 ・調理従事者の健康管理	・心の健康 ・食習慣を考え自立するために必要なこと	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・教室の温度湿度測定	・風邪・インフルエンザの予防 ・手洗い・うがいの大切さ ・アルコールの害	・自立するための家庭教育指導 ・小学生への食育指導
12	・冬を健康で元気に過ごす ・かぜ・インフルエンザを予防する	・大掃除 ・スクールカウンセリング ・献血	・健康状態調査 ・健康の維持管理 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・教室および黒板の照度検査 ・大掃除 ・清掃区域の分担割り当て・用具補充⑧	「人体の機能と構造」 ・感染症の予防と治療 「家庭基礎」 ・青年期と家族 ・共生社会 ・食生活	・冬の健康 ・郷土料理を楽しもう	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・教室の温度湿度測定	・清掃の大切さ ・喫煙の恐ろしさ ・基本的生活習慣 ・教室の換気指導	・在来野菜を取り入れた食品開発
1	・かぜ・インフルエンザを予防する	・学校保健安全委員会 ・大掃除 ・スクールカウンセリング	・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・暖房設備等の点検 ・教室等の空気検査 ・照度検査	「栄養」 ・栄養生理 「社会福祉基礎」 ・人間関係とコミュニケーション 「こころとからだの理解」 ・老年期の発達と成熟 ・老化に伴う心身の変化と日常生活への影響	・清掃について考える ・個人及び社会の一員としての在り方を考える	1 2 3	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・教室の温度湿度測定 ・学校保健委員会への参加	・清涼飲料水	・学校保健安全委員会
2	・健康の維持増進に努める	・スクールカウンセリング	・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・清掃区域の分担割り当て・用具補充⑨	「在宅看護」 ・人々の生活と健康 「コミュニケーション」 ・アサーション	・ストレスへの対応	1 2	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・教室の温度湿度測定	・排泄の重要性 ・病気の予防 ・ボランティア	・PTA役員会
3	・校舎内外の環境整備を行う	・大掃除	・健康の維持管理 ・諸表簿等の整理 ・職員健康相談 ・新年度健康診断準備	・清掃用具等の点検整備 ・大掃除	「人体の機能と構造」 ・生殖器 ・現代社会の心 「基礎看護」 ・安全事故防止 「公民」 ・現代の社会生活と青年の生き方 ・豊かな生活の実現 ・現代社会の特質と私たちの生活 「食品衛生」 ・食品安全対策 「公衆衛生」 ・健康づくり ・環境と健康 「栄養」 ・病態と栄養 「生活支援技術」 ・緊急時対応の知識と理解	・自分にとっての健康とは	1 2	・保健委員会 ・環境美化活動・衛生活動 ・清掃用具の点検補充 ・健康生活の見直しと次年度の計画	・環境美化	

2．令和７年度学校安全計画

山形県立山辺高等学校

区分／月	月の重点	学校安全関係行事	安全管理		安全教育					組織活動
					安全学習	安全指導				
			対人管理	対物管理	関連教科	LHR 健康や安全に関すること	学年	生徒会活動	SHR	
4	・生活環境整備と安全な通学 ・体育・部活動での安全	・安全点検 ・体育施設・用具の安全点検 ・自動車通学安全会 ・環境事故（感染性廃棄物の処理）対応訓練	・通学状況調査 ・防災体制の確立 ・救急体制の確立 ・登下校指導 ・車に係る規則の徹底（専攻科）	・学校環境の安全点検整備 ・防災施設設備の点検整備	「健康支援と社会保障制度」 ・各種の病原微生物の特徴 「基礎看護」 ・環境 ・食品と微生物について	・防災体制の確立 ・犯罪被害の防止	1 2 3	・新入生オリエンテーション ・対面式	・通学時の安全 ・連休時における事故防止と安全	・春の交通安全活動 ・PTA役員会 ・PTA総会
5	・学校生活での安全	・安全点検 ・スマホ安全教室	・授業時の安全確認	・設備等の点検 ・学校環境の安全点検整備 ・環境整備美化作業	「公衆衛生」 ・健康づくり 「家庭基礎」 ・食生活	・交通安全への参加	1 2 3	・壮行式 ・全校集会	・安全意識と行動 ・自転車の安全な利用	
6	・梅雨期の安全 ・非常災害発生時の対応	・避難訓練（地震・火災） ・緊急地震速報伝達訓練 ・マナーアップ運動 ・水質検査 ・安全点検 ・救急法講習会（ＡＥＤ）	・学校生活アンケート① ・健康相談 ・健康観察 ・生徒引率の安全確認 ・いじめアンケート① ・職員健康相談	・校内環境整備 ・学校環境の安全整備 ・校内衛生検査 ・通学路安全点検	・衣生活 ・住生活 「食品衛生」 ・食品と微生物 「公衆衛生」 ・食生活と疾病 ・施設器具・機械の取扱いと使用上の注意、点検整備	・地震と安全 ・熱中症予防	1 2 3	・全校集会	・雨の日と安全行動 ・災害時の避難経路	・マナーアップ運動 ・避難訓練
7	・夏期及び校外生活での安全	・安全点検 ・救急法講習会 ・環境事故（化学物質・薬品の管理）対応訓練 ・不審者対応訓練	・夏休み中の安全指導 ・大掃除と安全点検	・学校環境の安全点検整備 ・薬品点検	・熱源・電気器具の取扱いと使用上の注意、点検整備 ・化学薬品の取扱いと使用上の注意、点検整備	・夏休みの生活と安全 ・熱中症予防	1 2 3	・全校集会	・熱射病・日射病の予防 ・夏期休業中の安全指導	・夏の交通安全県民運動 ・夏休みの安全広報 ・校外巡視
8	・学校行事における安全	・安全点検 ・環境事故(地下オイルタンクの維持管理)対応訓練	・大掃除と安全点検 ・蒼潤祭の安全対策	・学校環境の安全点検整備	「老年看護」 ・高齢者を取り巻く社会と生活の理解 ・老人と保健・医療・福祉サービス	・熱中症予防		・全校集会 ・蒼潤祭	・野外活動の安全	校外巡視
9	・事故防止 ・交通道徳の理解 ・防災意識の高揚	・安全点検 ・避難訓練（寮火災）	・修学旅行前健康相談 ・生活習慣の確立 ・治療状況調査 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談 ・学校生活アンケート（専攻科）	・学校環境の安全点検整備 ・消火器火災報知機等の点検	「食品衛生」 ・飲食による健康危害 「公衆衛生」 ・感染症と疾病予防 ・健康づくり	・地震災害対策 ・震災学習 ・熱中症予防	1 2 3 2		・地震と安全	・避難訓練（寮） ・秋の交通安全運動 ・交通街頭指導
10	・安全意識の高揚（家庭生活における安全） ・修学旅行の安全	・マナーアップ運動 ・安全点検	・修学旅行の安全指導 ・授業等の安全（見直し） ・応急手当の方法の徹底	・学校環境の安全点検整備 ・修学旅行の宿舎の安全確保（保健所、警察への依頼）	「基礎看護」 ・感染の予防と治療 「成人看護・老年看護」 ・成人・老人に特有な健康問題	・事故発生の応急処置	1 2 3		・地域の安全活動 ・修学旅行における健康管理	・マナーアップ運動
11	・心の健康 ・事故災害の予防と安全	・安全点検 ・緊急地震速報伝達訓練	・健康の増進 ・健康相談 ・健康観察	・暖房設備等の整備 ・学校環境の安全点検整備 ・ストーブ設置と取扱い方		・暖房器具の換気に対する安全指導	1 2 3		・火災の予防とストーブの取扱い	・緊急地震速報伝達訓練
12	・冬期及び休業中の安全	・大掃除 ・安全点検 ・照度測定 ・空気検査	・冬休みの安全な生活 ・学校生活アンケート② ・いじめアンケート②	・学校環境の安全点検整備 ・暖房器具の安全点検 ・薬品の点検	「在宅看護」 ・人々の生活と健康	・火災予防	1 2 3	・全校集会	・冬休みの生活と安全（事故防止）	・年末の交通安全運動（凍結・積雪等） ・校外巡視
1	・冬期通学時の安全	・安全点検 ・学校保健安全委員会	・生活習慣の確立 ・自動車免許取得に係る指導の徹底	・暖房設備等の安全点検 ・教室等の空気検査 ・学校環境の安全点検整備	「生活支援技術」 ・緊急時対応の知識と理解 「基礎看護」 ・安全事故防止 ・危機管理	・積雪時の安全	1 2 3	・全校集会	・冬期登校下校通学時の安全指導	・学校保健安全委員会
2	・寒冷期の安全な生活 ・事故原因の究明と安全対策	・安全点検	・自動車免許取得に係る指導の徹底	・暖房設備等の安全点検 ・学校環境の安全点検整備	「介護福祉基礎」 ・介護における安全確保と危機管理	・交通事故防止	1 2		・地域の安全活動 ・教室の換気	・ＰＴＡ役員会
3	・校舎内外の環境整備 ・安全な生活	・安全点検	・自動車免許取得に係る指導の徹底	・清掃用具等の点検整備 ・学校環境の安全点検整備		・春休みの生活と安全	1 2	・全校集会	・今年度活動の評価とまとめ	・今年度の反省と計画立案

15.　専　攻　科　の　課　程

（看　　　護）

専攻科について以下の項目以外は冒頭目次に同じ（参照）

1．教　育　課　程
2．生　徒　の　概　況
3．進　路　状　況
4．自治会組織図

1．教　育　課　程（令和３年度入学生）

教科	科目	標準単位数		学年別単位数 1年	2年	3年	高校計	専攻科 1年	2年	高校専攻科計	備考
国語	国語総合	4	◎	4			4			4	
	現代文B	4			2	2	4			4	
地理歴史	世界史A	2	◎		2		2			2	
	日本史A	2	○			2*	0・2			0・2	
	地理A	2	○			2*	0・2			0・2	
公民	現代社会	2	◎	2			2			2	
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3			3	
	数学Ⅱ	4			2	2	4			4	
	数学A	2			2		2			2	
理科	科学と人間生活	2	◎	2			2			2	
	化学基礎	2				3	3			3	
	生物基礎	2	◎		3		3			3	
保健体育	体育	7～8	◎	2	2	3	7			7	
	保健	2	◎	(1)	(1)		(2)			(2)	
芸術	音楽Ⅰ	2	○	1*	1*		0・2			0・2	
	美術Ⅰ	2	○	1*	1*		0・2			0・2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	◎	3			3			3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			2	2	4			4	
家庭	家庭基礎	2	◎	2			2			2	
情報	社会と情報	2	◎	(2)			(2)			(2)	
共通教科・科目単位数合計				19	16	14	49			49	
看護（高校）	基礎看護	8～11	◇◆	4	2	2	8			8	
	人体と看護	4～8	◇	1	2	2	5			5	
	疾病と看護	3～7	◇		1	1	2			2	
	生活と看護	2～7	◇	1	1		2			2	
	成人看護	2～6	◇		1	1	2			2	
	老年看護	2～4	◇		1		1			1	
	母性看護	2～4	◇			1	1			1	
	小児看護	2～4	◇			1	1			1	
	看護臨地実習	10～21	◇	1	3	6	10			10	
	看護情報活用	2～4	◇	2			2			2	
	家族論		●◇		1	1	2			2	
	コミュニケーション		●◇	1	1		2			2	
専門教科・科目単位数合計				10	13	15	38			38	
合計				29	29	29	87			87	
看護（専攻）	統計学・情報科学	2	◇					2		2	
	心理学	1	◇					1		1	
	文学	2	◇					2		2	
	教育学	1	◇					1		1	
	社会学	1	◇						1	1	
	人間関係論	1	◇					1		1	
	英語	2	◇					1	1	2	
	保健体育	1	◇					1		1	
	解剖生理学	2	◇					2		2	
	生化学（含栄養）	1	◇					1		1	
	病理学	1	◇					1		1	
	疾病論	5	◇					3	2	5	
	薬理学	1	◇					1		1	
	関係法規	2	◇						2	2	
	社会福祉	2	◇						2	2	
	医療総論	1	◇						1	1	
	基礎看護学方法論Ⅱ	1	◇					1		1	
	基礎看護学方法論Ⅲ	1	◇					1		1	
	基礎看護学方法論Ⅳ	1	◇						1	1	
	成人看護学方法論Ⅱ	4	◇					2	2	4	
	老年看護学方法論Ⅰ	2	◇					2		2	
	老年看護学方法論Ⅱ	1	◇						1	1	
	母性看護学方法論Ⅰ	2	◇					2		2	
	母性看護学方法論Ⅱ	1	◇						1	1	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	◇					1		1	
	小児看護学方法論Ⅱ	2	◇					1	1	2	
	精神看護学概論	1	◇					1		1	
	精神看護学方法論Ⅰ	2	◇					2		2	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	◇						1	1	
	看護臨地実習　成人看護学	4	◇					2	2	4	
	看護臨地実習　老年看護学	2	◇					2*	2*	2	
	看護臨地実習　小児看護学	2	◇					2*	2*	2	
	看護臨地実習　母性看護学	2	◇					2*	2*	2	
	看護臨地実習　精神看護学	2	◇						2	2	
	看護臨地実習　在宅看護論	2	◇					2*	2*	2	
	看護臨地実習　看護の統合と実践	2	◇					1	1	2	
	在宅看護概論	1	◇					1		1	
	在宅看護方法論Ⅰ	1	◇					1		1	
	在宅看護方法論Ⅱ	2	◇						2	2	
	看護の統合と実践	4	◇					2	2	4	
総合的な学習の時間		3～6	◎	(1)	(1)	(1)	(3)				
専門教科・科目単位数合計（専攻科）								39	31	70	
卒業までに修得すべき単位数				74				70		144	
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	1	1	5	毎週金曜日1校時（高校）
	生徒会（自治会）活動（時間）			35	35	35	105				
				対面式、生徒総会（前期・後期）、壮行式、予餞会等							
	学校行事（時間）			56	76	46	178				
				入学式、創立記念式典、進路講演会、就業体験激励会、学校祭、戴帽式、学校見学会、修学旅行、保健講話、卒業・修了式等							
授業の1単位時間				50分							

備考

◎は必履修科目を表す。
○は選択必履修科目を表す。
◆は原則履修科目を表す。
●は学校設定科目を表す。
◇は看護師国家試験受験資格取得に必要な科目を表す。

地理歴史
「日本史A」、「地理A」から1科目選択履修

芸術
「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」から1科目選択履修

保健体育
「保健」は専門教科看護「基礎看護」、「人体と看護」で代替
（1年次1単位、2年次1単位）

情報
「社会と情報」は専門教科看護「看護情報活用」で代替
（1年次2単位）

総合的な学習の時間
「総合的な学習の時間」は専門教科看護「看護臨地実習」で代替（1年次1単位、2年次1単位、3年次1単位）

学校設定科目
「家族論」：平成21年度開設
「コミュニケーション」：平成21年度開設

校外での実習「看護臨地実習」
1年次1単位は、病院での実習（3日間）実施
2年次3単位は、病院での実習（15日間）実施
3年次6単位は、病院での実習（30日間）実施

看護（専攻科）
1年次「看護臨地実習」のうち、「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から1科目選択履修（2単位）

2年次「看護臨地実習」のうち「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から1年次に選択したもの以外の3科目選択履修（6単位）

【別表】（令和３年度入学生）

指定規則（別表３－３）					教育課程の内容												
分野	教育内容	単位数			高等学校						専攻科						
												専1年		専2年		専攻科計	
		高校	専攻科	合計	教科	科目	1年	2年	3年	高校計	科目	単位	時間	単位	時間	単位	時間
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	6	10	16	国語	国語総合	4			4	統計学・情報科学	2	45			2	45
						現代文B		2	2	4	心理学	1	30			1	30
					地理歴史	世界史A		2		2	文学	2	60			2	60
						日本史A			2*	0・2	教育学	1	30			1	30
						地理A			2*	0・2	社会学			1	30	1	30
					公民	現代社会	2			2	人間関係論	1	30			1	30
					数学	数学Ⅰ	3			3	英語	1	30	1	30	2	60
						数学Ⅱ		2	2	4	保健体育	1	30			1	30
						数学A		2		2							
					理科	科学と人間生活	2			2							
						化学基礎			3	3							
						生物基礎		3		3							
					保健体育	体育	2	2	3	7							
						保健	（基礎看護・看護基礎医学で代替）										
					芸術	音楽Ⅰ	1*	1*		0・2							
						美術Ⅰ	1*	1*		0・2							
					英語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	3			3							
						ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ		2	2	4							
					家庭	家庭基礎	2			2							
					情報	社会と情報	（看護情報活用で代替）										
					看護	看護情報活用	2			2							
						家族論		1	1	2							
						コミュニケーション	1	1		2							
	基礎分野合計	6	10	16	基礎分野合計		22	18	15	55	基礎分野合計	9	255	2	60	11	315
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	7	8	15	看護	人体と看護	1	2	2	5	解剖生理学	2	60			2	60
											生化学（含栄養）	1	30			1	30
						疾病と看護		1	1	2	病理学	1	30			1	30
											疾病論	3	90	2	60	5	150
											薬理学	1	30			1	30
	健康支援と社会保障制度	2	5	7		生活と看護	1	1		2	関係法規			2	45	2	45
											社会福祉			2	45	2	45
											医療総論			1	30	1	30
	専門基礎分野合計	9	13	22	専門基礎分野合計		2	4	3	9	専門基礎分野合計	8	240	7	180	15	420
専門分野Ⅰ	基礎看護学	8	3	11	看護	基礎看護	4	2	2	8	基礎看護学方法論Ⅱ	1	45			1	45
											基礎看護学方法論Ⅲ	1	45			1	45
											基礎看護学方法論Ⅳ			1	45	1	45
	臨地実習・基礎看護学	5		5		看護臨床実習	1	3	1	5							
	専門分野Ⅰ合計	13	3	16	専門分野Ⅰ合計		5	5	3	13	専門分野Ⅰ合計	2	90	1	45	3	135
専門分野Ⅱ	成人看護学	2	4	6	看護	成人看護		1	1	2	成人看護学方法論Ⅱ	2	60	2	60	4	120
	老年看護学	1	3	4		老年看護		1		1	老年看護学方法論Ⅰ	2	60			2	60
											老年看護学方法論Ⅱ			1	30	1	30
	母性看護学	1	3	4		母性看護			1	1	母性看護学方法論Ⅰ	2	60			2	60
											母性看護学方法論Ⅱ			1	30	1	30
	小児看護学	1	3	4		小児看護			1	1	小児看護学方法論Ⅰ	1	30			1	30
											小児看護学方法論Ⅱ	1	30	1	30	2	60
	精神看護学		4	4							精神看護学概論	1	15			1	15
											精神看護学方法論Ⅰ	2	60			2	60
											精神看護学方法論Ⅱ			1	30	1	30
	臨地実習 成人看護学	3	4	7	看護	看護臨地実習			3	3	成人看護学	2	90	2	90	4	180
	臨地実習 老年看護学	2	2	4		看護臨地実習			2	2	老年看護学	2*[2]	90	2*[2]	90	2	90
	臨地実習 小児看護学		2	2							小児看護学	2*[2]	90	2*[2]	90	2	90
	臨地実習 母性看護学		2	2							母性看護学	2*[2]	90	2*[2]	90	2	90
	臨地実習 精神看護学		2	2							精神看護学			2	90	2	90
	専門分野Ⅱ合計	10	29	39	専門分野Ⅱ合計		0	2	8	10	専門分野Ⅱ合計	13*15	495	14*16	540	29	1035
統合分野	在宅看護論		4	4							在宅看護概論	1	15			1	15
											在宅看護方法論Ⅰ	1	30			1	30
											在宅看護方法論Ⅱ			2	30	2	30
	看護の統合と実践		4	4							看護の統合と実践	2	30	2	30	4	60
	臨地実習 在宅看護論		2	2							在宅看護論	2*[2]	90	2*[2]	90	2	90
	臨地実習 看護の統合と実践		2	2							看護の統合と実践	1	45	1	45	2	90
	統合分野合計		12	12	統合分野合計		0	0	0	0	統合分野合計	5*7	120	5*7	195	12	315
					総合的な学習の時間		（看護臨地実習で代替）										
					合計		29	29	29	87	合計	39	1200	31	1020	70	2220
					ホームルーム活動		1	1	1	3	ホームルーム活動	1	35	1	35	2	70
	総計	38	67	105	総計		30	30	30	90	総計	40	1235	32	1055	72	2290

備考　単位の計算方法は、高等学校においては、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）第1章第2款第１項の規定による。
専攻科においては、大学設置基準第21条2項の規定の例による。
保健２単位を基礎看護、人体と看護の２科目によって代替
社会と情報２単位を看護情報活用によって代替
総合的な学習の時間を看護臨地実習によって代替
「家族論」　「コミュニケーション」は看護教科における学校設定科目として平成21年度より開設
専攻科の臨地実習において、１年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「在宅看護論」から１科目選択履修（２単位）
２年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「在宅看護論」から1年次に選択したもの以外の３科目選択履修（６単位）

1. 教　育　課　程（令和４年度入学生）

教科	分野	科目（必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●）	標準単位数			高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	計
国語		現代の国語	2		◎	2					2
		言語文化	2		◎	2					2
		論理国語	4				2	3			5
地理歴史		地理総合	2		◎		2				2
		歴史総合	2		◎			2			2
公民		公共	2		◎	2					2
		政治・経済	2					□ 2			0･2
数学		数学Ⅰ	3		◎	3					3
		数学A	2				2				2
		数学発展α			●		2				2
		数学発展β			●			□ 2			0･2
理科		科学と人間生活	2		◎	2					2
		化学基礎	2		○			3			3
		生物基礎	2		◎		3				3
保健体育		体育	7〜8		◎	3	2	2			7
		保健	2		◎	(1)	(1)				(2)
芸術		音楽Ⅰ	2		○		2 ┐				0･2
		美術Ⅰ	2		○		2 ┘				0･2
外国語		英語コミュニケーションⅠ	3		◎	3					3
		英語コミュニケーションⅡ	4				2	2			4
家庭		家庭基礎	2		◎	2					2
情報		情報Ⅰ	2		◎	(2)					(2)
共通教科・科目単位数合計						19	17	14			50
看護（高校）	基礎	看護情報	2	2〜4	＊◇	2					2
		コミュニケーション		1	●◇	1					1
		化学基礎	2	(3)	◇			(3)			(3)
	専門基礎	人体の構造と機能	3〜7	5	◇＊	1	2	2			5
		疾病の成り立ちと回復の促進	4〜8	2	◇		1	1			2
		健康支援と社会保障制度	2〜7	1	◇	1					1
	専門分野	基礎看護	2〜11	8	◆◇＊	4	4	2			10
		在宅看護	2〜4	1	◇＊		1				1
		成人看護	2〜6	2	◇		1	1			2
		老年看護	2〜4	1	◇			1			1
		小児看護	2〜4	1	◇			1			1
		母性看護	2〜4	1	◇			1			1
		看護臨地実習　基礎看護	10〜21	4	◇＊	1	3				4
		看護臨地実習　成人・老年看護		6	◇			6			6
看護（専攻科）	基礎分野	科学的思考の基盤　小論文	10	1	◇				1		1
		科学的思考の基盤　統計学		1	◇				1		1
		科学的思考の基盤　情報科学		1	◇				1		1
		科学的思考の基盤　心理学		1	◇				1		1
		人間と生活・社会の理解　教育学		1	◇				1		1
		人間と生活・社会の理解　人間関係論		1	◇				1		1
		人間と生活・社会の理解　社会学		1	◇					1	1
		人間と生活・社会の理解　保健体育		1	◇				1		1
		人間と生活・社会の理解　英語		2	◇				1	1	2
	専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進　解剖生理学	3〜7	2	◇				2		2
		人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進　生化学（含栄養）		1	◇				1		1
		人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進　病理学	4〜8	1	◇				1		1
		人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進　疾病論		4	◇				3	2	5
		人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進　薬理学		1	◇				1		1
		健康支援と社会保障制度　関係法規	2〜7	2	◇					2	2
		健康支援と社会保障制度　社会福祉		2	◇					2	2
		健康支援と社会保障制度　医療総論		1	◇					1	1
		基礎看護学概論	2〜11	1	◇				1		1
	専門分野	基礎看護学方法論Ⅰ		1	◇				1		1
		基礎看護学方法論Ⅱ		2	◇				2		2
		基礎看護学方法論Ⅲ		1	◇					1	1
		地域・在宅看護概論	2〜4	1	◇				1		1
		地域・在宅看護論Ⅰ		2	◇				2		2
		地域・在宅看護論Ⅱ		2	◇					2	2
		成人看護学方法論Ⅰ	2〜6	2	◇				2		2
		成人看護学方法論Ⅱ		2	◇					2	2
		老年看護学方法論Ⅰ	2〜4	2	◇				2		2
		老年看護学方法論Ⅱ		1	◇					1	1
		小児看護学方法論Ⅰ	2〜4	2	◇				2		2
		小児看護学方法論Ⅱ		1	◇					1	1
		母性看護学方法論Ⅰ	2〜4	2	◇				2		2
		母性看護学方法論Ⅱ		1	◇					1	1
		精神看護学概論	2〜4	1	◇				1		1
		精神看護学方法論Ⅰ		2	◇				2		2
		精神看護学方法論Ⅱ		1	◇					1	1
		看護の統合と実践Ⅰ	2〜4	2	◇				2		2
		看護の統合と実践Ⅱ		2	◇					2	2
		看護臨地実習　成人看護学	10〜21	4	◇				2	2	4
		看護臨地実習　地域・在宅看護論		2	◇				2 ┐＊	2 ┐＋	2
		看護臨地実習　老年看護学		2	◇				2 ┤＊	2 ┤＋	2
		看護臨地実習　小児看護学		2	◇				2 ┤＊	2 ┤＋	2
		看護臨地実習　母性看護学		2	◇				2 ┘＊	2 ┘＋	2
		看護臨地実習　精神看護学		2	◇					2	2
		看護臨地実習　看護の統合と実践		2	◇				1	1	2
専門教科・科目単位数合計						10	12	15	41	31	109
総合的な探究の時間			3〜6		◎	(1)	(1)	(1)			
合計						29	29	29	41	31	159
卒業までに修得すべき単位数							74			72	146

備考

◆原則必履修科目
◇看護師国家試験受験資格取得のために必要な科目
＊代替科目のため必履修

高校
３年時
□から１科目選択

化学基礎
「化学基礎」（３年時３単位）は、専門教科の基礎分野を兼ねる

芸術
「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」から１科目選択

保健体育
「保健」は専門教科看護「基礎看護」「人体の構造と機能」で代替（１年時１単位、２年時１単位）

情報
「情報Ⅰ」は専門教科看護「看護情報」で代替（１年時２単位）

総合的な探究の時間
「総合的な探究の時間」は専門教科看護「看護臨地実習」で代替（１年時１単位、２年時１単位、３年時１単位）

校外での実習「看護臨地実習」は病院での実習
１年時１単位（５日間実施）２年時３単位（15日間実施）、３年時６単位（30日間実施）

学校設定科目
「コミュニケーション」：平成20年度開設
「数学発展α」「数学発展β」令和４年度開設

専攻科「看護臨地実習」
＊1年時に「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から１科目選択履修（２単位）
+2年時に「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「在宅看護論」から１年時に選択しなかった３科目選択履修（６単位）

標準単位数（高校単位数／専攻科単位数）
人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、合わせて16（７／９）
健康支援と社会保障制度６（１／５）
看護情報２〜４（２／０）
基礎看護12（８／４）
成人看護６（２／４）
老年看護４（１／３）
小児看護４（１／３）
母性看護４（１／３）
精神看護４（０／４）
地域・在宅看護論６（１／５）
看護の統合と実践４（０／４）
看護臨地実習26（10／16）

特別活動		高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	計	備考
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	1	5	高校は毎週金曜日１校時
	生徒会活動（時間）	35	35	35				
		対面式、生徒総会（前期・後期）、壮行式、予選会、文化祭、クラスマッチ等						
	学校行事（時間）	56	76	46				
		入学式、創立記念式典、進路後援会、就業体験激励会、学校祭、戴帽式、学校見学会、修学旅行、保健講話、卒業・修了式等						
授業の１単位時間		50分						

【別表】 看 護 科（令和４年度入学生）

指定規則（別表３－３）					教育課程の内容												
教育内容		単位数 高等学校	単位数 専攻科	単位数 合計	高等学校 教科	科目	1年 単位	2年 単位	3年 単位	単位合計	専攻科 科目	1年 単位	1年 (時間)	2年 単位	2年 (時間)	単位合計	内容ごとの総単位数
基礎分野	科学的思考の基盤				国語	現代の国語	2			2	小論文	1	30			1	
		6	10	16		言語文化	2			2	統計学	1	30			1	
	人間と生活・社会の理解					論理国語		2	3	5	情報科学	1	15			1	
					地理歴史	地理総合		2		2	心理学	1	30			1	
						歴史総合			2	2	教育学	1	30			1	
					公民	公共	2			2	人間関係論	1	15			1	
						政治・経済			□2	0・2	社会学			1	30	1	
					数学	数学Ⅰ	3			3	保健体育	1	30			1	
						数学A		2		2	英語	1	30	1	30	2	
						数学発展α		2		2							
						数学発展β			□2	0・2							
					理科	科学と人間生活	2			2							
						化学基礎			3	3							
						生物基礎		3		3							
					保健体育	体育	3	2	2	7							
						保健	（基礎看護・人体の構造と機能で代替）										
					芸術	音楽Ⅰ		2		0・2							
						美術Ⅰ		2		0・2							
					外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3							
						英語コミュニケーションⅡ		2	2	4							
					家庭	家庭基礎	2			2							
					情報	情報Ⅰ	（看護情報で代替）										
					看護	看護情報	2			2							
						コミュニケーション	1			1							
						化学基礎			(3)	(3)							
	基礎分野合計	**6**	**10**	**16**		**基礎分野合計**	**22**	**17**	**14**	**53**	**基礎分野合計**	**8**		**2**		**10**	**63**
専門基礎分野	人体の構造と機能				看護	人体の構造と機能	1	2	2	7	解剖生理学	2	60			10	17
		7	9	16		疾病の成り立ちと回復の促進		1	1		生化学（含栄養）	1	30				
	疾病の成り立ちと回復の促進										病理学	1	30				
											疾病論	3	90	2	60		
											薬理学	1	30				
	健康支援と社会保障制度	1	5	6	看護	健康支援と社会保障制度	1			1	関係法規			2	30	5	6
											社会福祉			2	30		
											医療総論			1	30		
	専門基礎分野合計	**8**	**14**	**22**		**専門基礎分野合計**	**2**	**3**	**3**	**8**	**専門基礎分野合計**	**8**		**7**		**15**	**23**
専門分野	基礎看護学	8	4	12	看護	基礎看護	4	4	2	10	基礎看護学概論	1	15			5	15
											基礎看護学方法論Ⅰ	1	30				
											基礎看護学方法論Ⅱ	2	60				
											基礎看護学方法論Ⅲ			1	45		
	地域・在宅看護論	1	5	6	看護	在宅看護		1		1	地域・在宅看護概論	1	15			5	6
											地域・在宅看護方法論Ⅰ	2	60				
											地域・在宅看護方法論Ⅱ			2	30		
	成人看護学	2	4	6	看護	成人看護		1	1	2	成人看護学方法論Ⅰ	2	60			4	6
											成人看護学方法論Ⅱ			2	60		
	老年看護学	1	3	4	看護	老年看護			1	1	老年看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											老年看護学方法論Ⅱ			1	30		
	小児看護学	1	3	4	看護	小児看護			1	1	小児看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											小児看護学方法論Ⅱ			1	30		
	母性看護学	1	3	4	看護	母性看護			1	1	母性看護学方法論Ⅰ	2	60			3	4
											母性看護学方法論Ⅱ			1	30		
	精神看護学		4	4							精神看護学概論	1	30			4	4
											精神看護学方法論Ⅰ	2	60				
											精神看護学方法論Ⅱ			1	30		
	看護の統合と実践		4	4							看護の統合と実践Ⅰ	2	30			4	4
											看護の統合と実践Ⅱ			2	30		
	専門分野小計	**14**	**30**	**44**		**専門分野小計**	**4**	**6**	**6**	**16**	**専門分野小計**	**20**		**11**		**31**	**47**
	臨地実習 基礎看護学	(3)		(3)	看護	基礎看護	1	3		4							4
	地域・在宅看護論		(2)	(2)							地域・在宅看護論	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	成人看護学 老年看護学	(2)	(2)	(4)	看護	成人・老年看護			6	6	成人看護学	2	70	2	70	6	12
											老年看護学	2*(2)	70	2*(2)	70		
	小児看護学		(2)	(2)							小児看護学	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	母性看護学		(2)	(2)							母性看護学	2*(2)	70	2*(2)	70	2	2
	精神看護学		(2)	(2)							精神看護学			2	70	2	2
	看護の統合と実践		(2)	(2)							看護の統合と実践	1	35	1	35	2	2
	臨地実習小計	**10**	**16**	**26**		**臨地実習小計**	**1**	**3**	**6**	**10**	**臨地実習小計**	**5**		**11**		**16**	**26**
	専門分野合計	**24**	**46**	**70**		**専門分野合計**	**5**	**9**	**12**	**26**	**専門分野合計**	**25**		**22**		**47**	**73**
					総合的な探究の時間		（看護臨地実習で代替）										
					ホームルーム活動		1	1	1	3	ホームルーム活動	1		1		2	5
					その他												
合計		38	70	108	合計		30	30	30	90	合計	42		32		74	164

備考
①単位の計算方法は、高等学校においては、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）第1章第２　第１項の規定による。
②専攻科においては、大学設置基準第21条2項の規定の例による。
③「保健」２単位を「基礎看護」、「人体と看護」の２科目によって代替する。
④「情報Ⅰ」２単位を「看護情報」によって代替する。
⑤「総合的な探究の時間」を「看護臨地実習」によって代替する。
⑥学校設定科目として「コミュニケーション」を平成21年度に開設、「発展数学α」「発展数学β」を令和４年度に開設した。
⑦専攻科の「臨地実習」については、１年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「地域・在宅看護論」から１科目選択して履修（２単位）する。
⑧専攻科の「臨地実習」については、２年次に「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「地域・在宅看護論」から１年次に選択したもの以外の３科目選択履修（６単位）する。

2. 生 徒 の 概 況

1. 生　徒　数

専攻科	学年／学科	1	2	計
	看護	26 (2)	38 (1)	64 (3)

（　）は男子の人数

2. 通　学　状　況…（現在（春）の通学方法で）

⑴　利用交通機関

方法＼クラス		専1	専2	計
列車	山形方面	13	23	36
	寒河江方面	1	4	5
バス		0	0	0
自転車		5	2	7
徒歩		4	7	11
その他		3	2	5
計		26	38	64

⑵　寮生・止宿生

学年	専1	専2	計
寮生	3	7	10
止宿生	0	0	0

３．市町村別生徒数

市町村名＼学年	専１	専２	計
山形市	13	11	24
上山市	1	2	3
天童市	2	5	7
山辺町	1	2	3
中山町	1	2	3
寒河江市	1	2	3
河北町	0	1	1
西川町	0	0	0
朝日町	0	1	1
大江町	0	0	0
村山市	2	0	2
東根市	0	2	2
尾花沢市	1	1	2
新庄市	1	1	2
最上町	0	1	1
真室川町	0	0	0
金山町	0	1	1
舟形町	0	0	0
大石田町	0	0	0
鮭川村	0	0	0
戸沢村	0	1	1
大蔵村	0	0	0
米沢市	0	1	1
長井市	1	3	4
高畠町	0	0	0
川西町	0	0	0
白鷹町	0	0	0
南陽市	1	0	1
小国町	0	0	0
飯豊町	0	0	0
鶴岡市	1	0	1
庄内町	0	0	0
三川町	0	1	1
酒田市	0	0	0
合計	26	38	64

3．進　路　状　況

進路＼学科		専　攻　科	計
就職	県　　　内	19	36
	県　　　外	17	
進学	県　　　内	0	1
	県　　　外	1	
その他（未定含む）		2	2
計		39	39

1．令和６年度修了生の進路状況

（　）内の数字は人数
（令和７年３月31日現在）

<table>
<tr><td colspan="2">就　　　　職　　36名</td></tr>
<tr><td>［　県　　　内　］</td><td>［　県　　　外　］</td></tr>
<tr><td>山形県病院事業局 (4)
公立置賜総合病院
済生会山形済生病院 (7)
公立学校共済組合　東北中央病院
国立病院機構　米沢病院
山形さくら町病院 (3)
至誠堂総合病院
篠田総合病院</td><td>仙台厚生病院（宮城）
仙台医療センター（宮城）
中嶋病院（宮城）
彩の国東大宮メディカルセンター（埼玉）
春日部中央総合病院（埼玉）
新久喜総合病院（埼玉）
イムス三芳総合病院（埼玉）
千葉病院（千葉）
順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉）
地方独立行政法人東京都立病院機構（東京）
東京都済生会中央病院（東京）
総合東京病院（東京）
武蔵野赤十字病院（東京）
榊原記念病院（東京）
湘南美容クリニック（東京） (2)
新百合ヶ丘総合病院（神奈川）</td></tr>
<tr><td>小　　　計　19名</td><td>小　　　計　17名</td></tr>
<tr><td colspan="2">進　　　　学　　１名</td></tr>
<tr><td>［　県　　　内　］</td><td>［　県　　　外　］
マロニエ医療福祉専門学校（栃木）</td></tr>
<tr><td>小　　　計　０名</td><td>小　　　計　１名</td></tr>
</table>

２．過去３年間の就職

⑴ 県内就職

就職先 ＼ 修了年度(修了生数)	R４(37)	R５(36)	R６(39)
山形県病院事業局	3	2	4
山形大学医学部附属病院	5	4	
国立病院機構山形病院	1		
国立病院機構米沢病院	1	1	1
東北中央病院		2	1
済生会山形済生病院	7	3	7
山形さくら町病院	4		3
至誠堂病院			1
篠田総合病院	3	4	1
公立置賜総合病院		1	1
日本海総合病院		1	
鶴岡市立荘内病院		1	
米沢市立病院	1		
寒河江市立病院		1	
北村山公立病院		1	
川西湖山病院	1		
県内就職者　計	26	21	19

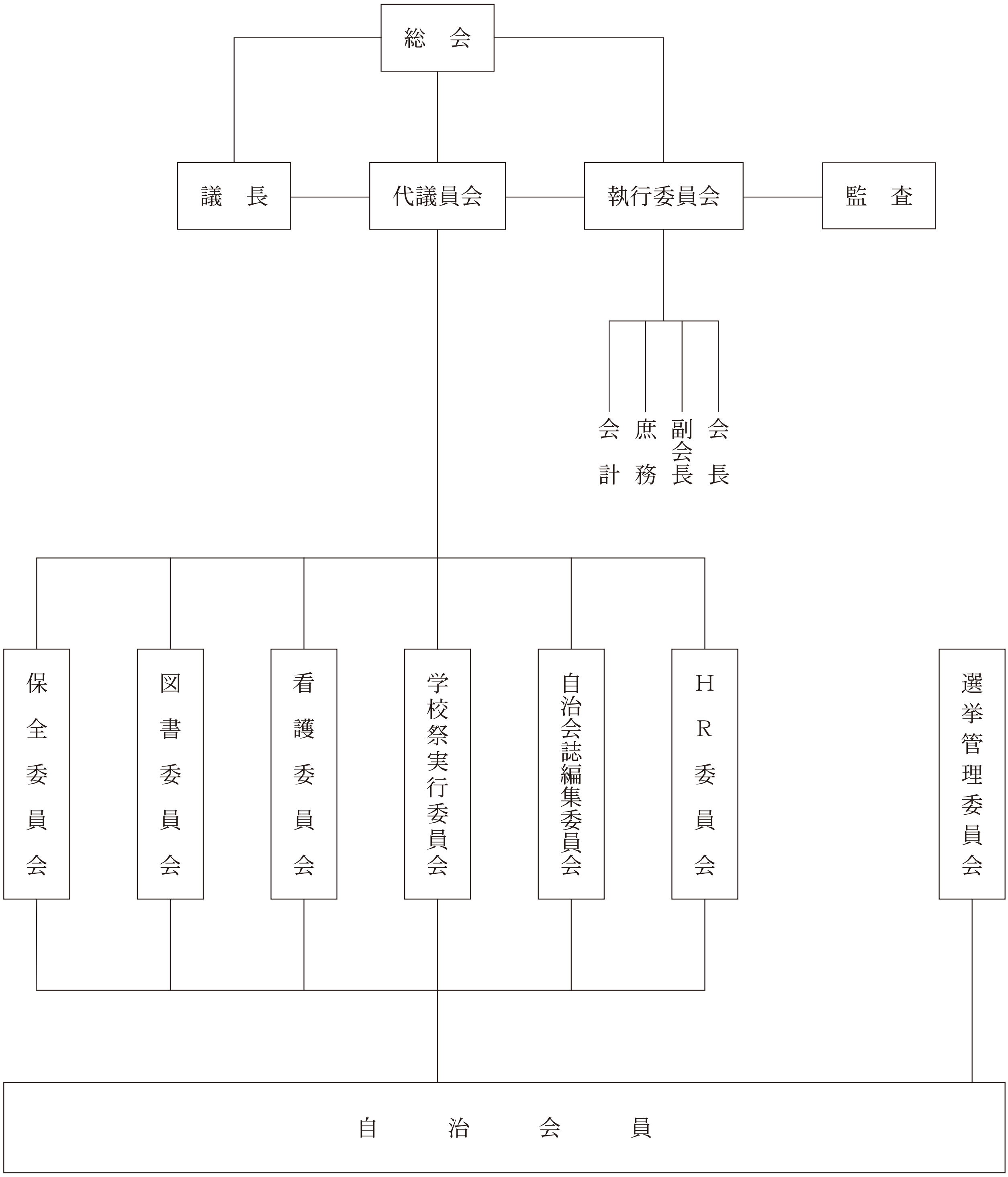
⑵ 県外就職

就職先 ＼ 修了年度(修了生数)	R４(37)	R５(36)	R６(39)
仙台医療センター			1
国立病院機構仙台西多賀病院		1	
仙台厚生病院		1	1
仙塩総合病院	1		
中嶋病院			1
彩の国東大宮メディカルセンター	1	1	1
戸田中央総合病院		1	
八潮中央総合病院		1	
春日部中央総合病院			1
新久喜総合病院			1
イムス三芳総合病院			1
千葉病院			1
順天堂大学医学部附属浦安病院	1		1
東京都立病院機構	1		1
東京都済生会中央病院		1	1
江戸川病院	1		
高島平中央病院	1		
総合東京病院			1
武蔵野赤十字病院			1
榊原記念病院			1
湘南美容クリニック			2
イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院		1	
横浜市南部病院		1	
新百合ヶ丘総合病院		2	1
聖マリアンナ医科大学病院		1	
海老名総合病院		1	
県外就職者　計	6	12	17
就職者　合計	32	33	36

３．過去３年間の進学状況

進学先	R４	R５	R６
山形大学養護教諭特別別科		1	
山形厚生看護学校助産学科	1	1	
新潟大学養護教諭特別別科	1		
スズキ病院附属助産学校		1	
マロニエ医療福祉専門学校	1		1
大原簿記公務員専門学校新潟校	1		
進学者合計	4	3	1

4. 自治会組織図


総　会
議　長
代議員会
執行委員会
監　査
会計
庶務
副会長
会長
保全委員会
図書委員会
看護委員会
学校祭実行委員会
自治会誌編集委員会
HR委員会
選挙管理委員会
自　治　会　員

令和７年度　山形県立山辺

４月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	火	閉寮	学校安全の日 職員顔合わせ 机移動 各課・学年・学科打合せ		学校安全の日　職員 顔合わせ 机移動 課・学年・科打合	
2	水	・				
3	木	・	年度初職員会議		年度初職員会議	
4	金	・	食物科非常勤講師との打ち合 わせ会			
5	土	・				
6	日	・				
7	月		【開寮】		【開寮】	
8	火		始業式[午前] 入学式[午後] PTA役員選挙 進路希望調査(1)③		始業式[午前] 入学式[午後] PTA役員選挙	
9	水		学びの基礎診断[2-4]①②③ 新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(1)[5-6]①			
10	木		新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(2)[1-4]① 対面式[5-6] 歯科検診(1)[1-3]		自治会役員選挙公示 歯科検診(1)[1-3]	
11	金		新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(3)[1-4]① 生徒会専門委員会[放]			
12	土		高校生レストラン			
13	日		高校生レストラン			
14	月		顔写真撮影[1-4] 耳鼻科検診(1)[5-6] 一斉部会[放]　※下記参照		耳鼻科検診(1)[5-6]	
15	火		一斉退校日		一斉退校日	
16	水		身体計測[1-2] 校務運営委員会[放]		身体計測[1-2]	
17	木		尿検査(1)		尿検査(1)	
18	金	一斉	看護クラブ前期総会 [1] 家庭クラブ前期総会 [5] PTA役員会(1)[放]		自治会立会演説会・ 投票	
19	土	帰省				
20	日	日				
21	月		介護実習指導担当者会(1)			
22	火		校歌・応援歌練習[7]			
23	水		内科検診[1-3] 眼科検診[5-6] 職員会議		内科検診[1-3] 眼科検診[5-6] 職員会議	
24	木		心電図検査[1-3]		心電図検査[1-3]	
25	金		議案書審議[1] 小論文添削[6]③ 生徒会リーダー研修会[放]			
26	土		午前授業[1-3] PTA総会[3]		午前授業[1-3] PTA総会[3]	
27	日					
28	月					
29	火		昭和の日		昭和の日	
30	水		尿検査(2)		尿検査(2)	
			14　月　学習時間調査(1)（～20まで）	17 日	自治会前期総会 進路ガイダンス① 国家試験対策講座②	17 日

５月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	木		第77回創立記念式[2] 実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(1)[3-7]福②③ 学校安全の日		第77回創立記念式 [2]	
2	金	一	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ[1]食③福③ 生徒総会[5-6]			
3	土	斉	憲法記念日 高校生レストラン		憲法記念日	
4	日	帰	みどりの日		みどりの日	
5	月	省	こどもの日		こどもの日	
6	火	日	振替休日		振替休日	
7	水		進路希望調査(1)①②			専②
8	木					・
9	金		壮行式[6]			・
10	土		地区高校総体(1)			
11	日		地区高校総体(2)			
12	月		代休(4/26)		代休(4/26)	
13	火		全校集会[1]	福②		専②
14	水		午前授業[1-3] 地区教科研究会[午後]	福③	午前授業[1-3] 地区教科研究会[午 後]	・
15	木		学校評議委員会[午後] 歯科検診(2)[1-3]	・	歯科検診(2)[1-3]	・
16	金	一斉	校務運営委員会 スマホ安全教室①[1] 胸部レントゲン撮影[5-6]	・	胸部レントゲン撮影 [5-6]	・
17	土	帰省				
18	日	日				
19	月		※PTA下記参照	福②		専②
20	火		一斉退校日	福③	一斉退校日	・
21	水		職員会議	・	職員会議	・
22	木		単身高齢者弁当(1)食②食③	・		・
23	金			・		・
24	土					
25	日					
26	月		県高校総体（陸上）～29			専②
27	火		耳鼻科検診(2)[5-6] ※PTA下記参照		耳鼻科検診(2)[5-6]	・
28	水		西洋料理講習会　食①			・
29	木		福祉科30周年ｲﾍﾞﾝﾄ[2-7] 尿検査(3)		尿検査(3)	・
30	金		県高校総体(1) 特別時間割[1-3] 書店訪問［放］			・
31	土		県高校総体(2)			
			進路合同会議③ B肝抗原抗体確認検査　看① 第１回地区生徒指導協議会 19　月　町P連総会（中央公民館） 27　金　県高Ｐ連第1回理事会総会 （山形）	19 日	進路合同会議② 進路希望調査①	19 日

６月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	日		県高校総体(3)			
2	月		学校安全の日 全校集会・AED講習会[1] 読書会(1)			専②
3	火		マナーアップ運動(1) 避難訓練(1)［7]		避難訓練(1)［7]	・
4	水		マナーアップ運動(2) 生徒会リーダー研修会[放]			・
5	木		実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(2)[2-7]福③			・
6	金	一斉	志望理由書講座[5-6]③ MH委員会(1) ※PTA下記参照			・
7	土	帰省	高校生レストラン			
8	日	日	高校生レストラン			
9	月					専②
10	火		前期テスト１(1) ※PTA下記参照			・
11	水		前期テスト１(2) 職員健康相談			・
12	木		前期テスト１(3)			・
13	金		前期テスト１(4) 食福３年実習激励会[4] ※PTA下記参照			・
14	土					
15	日					
16	月		校務運営委員会	食③		専②
17	火		一斉退校日	福③	一斉退校日	・
18	水			・		・
19	木		性教育講話[5-6]①	・		・
20	金	一斉		・		・
21	土	帰省				
22	日	日				
23	月			食③		専②
24	火		伝票提出	福③		・
25	水		職員会議	看②	職員会議	・
26	木		実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(2)[2-7]福② 一覧表提出	・		・
27	金		制服着こなしセミナー①[1]	・		・
28	土		プレ・オープンスクール(仮 称)			
29	日					
30	月		成績会議③	・		専②
			13　金　いじめ・学校生活アンケート 13　金　いじめ保護者アンケート 13　金　学習自己点検(1) B肝ワクチン接種（1）看① 6　金　町P常任委員会①（相模小） 10　火　東北高Ｐ連総会第1回委員会 13　金　県Ｐ高連研修会(酒田)	21 日		21 日

記号：丸数字①②③＝学年、小かっこ(1)(2)(3)＝回数、大かっこ[1][2][3]＝校時

高等学校　年間行事予定表（前期）

７月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	火		学校安全の日 ※PTA下記参照	食③		専②
2	水		※PTA下記参照	福②		・
3	木		中学教員入試説明会[午後]	福③		・
4	金		介護実習指導担当者会(2) 保護者進路説明会　食福③	看②		・
5	土		高校生レストラン			
6	日		高校生レストラン			
7	月			福②		専②
8	火			福③		・
9	水		校務運営委員会	看②		・
10	木			・		・
11	金	一斉		・		・
12	土	帰省	食物調理技術検定準１級(1)食②			
13	日	日	食物調理技術検定準1級(2)食②			
14	月					専②
15	火		一斉退校日		一斉退校日	・
16	水		職員会議		職員会議	・
17	木		ふくしかカフェ(1)福③			・
18	金		小論文講演(2)[5]①[6]② 生徒会リーダー研修会[放]			・
19	土					
20	日					
21	月		海の日		海の日	
22	火		小論文添削(3)[7]①②③			
23	水	閉寮	午前授業[1-3]　全校集会[2] 不審者対応訓練[2] 授業[4-7]福③　※下記参照		不審者対応訓練[2]	
24	木	・	夏季休業 (授業[1-7]　福③)		夏季休業	
25	金	・	(授業[1-7]　福③)			
26	土	・	マンドリン部第60回定期演奏会(遊学館ホール)			
27	日	・				
28	月	・				
29	火	・				
30	水	・				
31	木	・				
23	水		就職ガイダンス③ B肝ワクチン接種（2）看① 授業評価(1) 第２回地区生徒指導協議会 校外研修　食①		夏期講習①② 小論文模試① 自治会リーダー研修会	
1 2	火 水		東北高P連仙台大会(1) 東北高P連仙台大会(2)	16日		16日

８月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	金	閉寮	学校安全の日			
2	土	・				
3	日	・				
4	月	・				
5	火	・	サマースクール			
6	水	・				
7	木	・				
8	金	・				
9	土	・				
10	日	・				
11	月	・	山の日		山の日	
12	火	・	学校閉庁日(1)		学校閉庁日(1)	
13	水	・	学校閉庁日(2)		学校閉庁日(2)	
14	木	・	学校閉庁日(3)		学校閉庁日(3)	
15	金	・	学校閉庁日(4)		学校閉庁日(4)	
16	土	・				
17	日	・				
18	月	・				
19	火		【開寮】 校務運営委員会 校内推薦会議(就職)		【開寮】	
20	水		大掃除 [1] 課題テスト[2-4] 生徒会リーダー研修会[放]			
21	木		一斉退校日		一斉退校日	
22	金					
23	土					
24	日					
25	月		職員会議 ふくしかカフェ(2)福③		職員会議	専②
26	火		中国料理講習会			・
27	水		生徒会役員選挙公示			・
28	木		蒼潤祭準備[1-6]			・
29	金		蒼潤祭(1)		蒼潤祭(1)	
30	土		蒼潤祭(2)		蒼潤祭(2)	
31	日					
			花笠パレード 福	9日		9日

９月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	月		学校安全の日			専②
2	火		避難訓練(2)[放]（清心寮）		避難訓練(2)[放]（清心寮）	・
3	水		教科担当者会[放]②			・
4	木		県高校新人（陸上）～7			・
5	金		教科担当者会①[放] 介護実習指導担当者会(3)			・
6	土		高校生レストラン			
7	日		高校生レストラン			
8	月		進路激励会[4]③ PTA模擬面接[5]③ 進学講演会[5]③※下記参照			専②
9	火		※PTA下記参照			・
10	水		立会演説会・投票[1] 校務運営委員会			・
11	木					・
12	金	一斉	校内推薦会議(進学)[放] ※PTA下記参照			・
13	土	帰省	模擬試験(1)福③			
14	日	日				
15	月	・	敬老の日		敬老の日	
16	火		生徒会認証式[放] 一斉退校日			
17	水		職員会議			
18	木					
19	金		壮行式[6] ふくしかカフェ(3)福③			
20	土		地区高校新人(1)			
21	日		地区高校新人(2)			
22	月					
23	火		秋分の日		秋分の日	
24	水		MH委員会(2)			
25	木		前期テスト２(1)		前期テスト(1)①	
26	金	一斉	前期テスト２(2) 中間総括会議[放]		前期テスト(2)① 中間総括会議[放]	
27	土	帰省				
28	日	日				
29	月		前期テスト２(3)		前期テスト(3)①	
30	火		前期テスト２(4) 学習自己点検(2) 前期終業式・後期始業式		前期テスト(4)① 前期終業式・後期始業式	
8	月		学習時間調査(2)（～15まで） 第３回地区生徒指導協議会	前期 102日	小論文模試① 0	前期 102日
9	火		県高Ｐ連第１回地区事務局担当者会			
12	金		東北高Ｐ連第２回委員会（岩手）	20日		20日

10月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	水		代休（8/30）		代休（8/30）	
2	木		マナーアップ運動⑴ 日本料理講習会 食②※下記 国試対策講話 福③　　参照		自治会役員選挙公示	
3	金		マナーアップ運動⑵ 薬物乱用防止教室①[1]			
4	土		高校生レストラン			
5	日		高校生レストラン			
6	月		生徒会専門員会[放]			
7	火		実習報告会[7]福①②③			
8	水		※PTA下記参照			
9	木		演劇鑑賞教室[1-4]		演劇鑑賞教室[1-4]	
10	金		県高総文祭最北大会⑴ 伝票提出 ※PTA下記参照		自治会立会演説会・投票	
11	土		県高校新人（屋外）⑴ 県高総文祭最北大会⑵			
12	日		県高校新人（屋外）⑵ 県高総文祭最北大会⑶			
13	月		スポーツの日		スポーツの日	
14	火					
15	水		戴帽式 [5-6] 校務運営委員会[放] 一覧表提出		戴帽式 [5-6]	
16	木		実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 福①		自治会新旧引継ぎ	
17	金	一斉	進路ガイダンス[6]② 授業参観[5]① PTA研修会[6]① ※下記参照			
18	土	帰省				
19	日	日				
20	月		成績会議①②③	福①		
21	火		一斉退校日	看③	一斉退校日	
22	水		職員会議	・	職員会議	
23	木		食育教室（校外）食②	・		
24	金		県高校駅伝 ～25	・		
25	土					
26	日		器楽・管弦楽専門部合同演奏会（酒田市）全国産業教育フェア（福島県郡山市）			
27	月			看③		
28	火			・		
29	水			・		
30	木		実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ[2-7]福②	・		専①
31	金		進路ガイダンス[6]① 修学旅行説明会[放]②保護	・		・

高校：
2　木　学校安全の日
2　木　生徒会引継ぎ会
17　金　看護クラブ後期総会 [1]
8　水　県高Ｐ連第２回理事会（山形）
10　金　町P常任委員会②（相模小）
21日

専攻科：
志望理由書講座①
21日

11月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	土		県高校新人（屋内）⑴ 国試模試⑵福③			
2	日		県高校新人（屋内）⑵			
3	月		文化の日		文化の日	
4	火		学校安全の日	福②		専①
5	水			看③		・
6	木		ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ講習会 食② 山大附特支交流会⑴福③	・		・
7	金	一斉	やまがたのスペシャリストに聞くトップセミナー[6]① MH委員会(3)	・		・
8	土	帰省	高校生レストラン			
9	日	日	高校生レストラン			
10	月			福②		専①
11	火			看③		・
12	水		校務運営委員会[放]	・		・
13	木		単身高齢者弁当⑵食②食③	・		・
14	金			・		・
15	土					
16	日					
17	月			看③		
18	火		一斉退校日	・	一斉退校日	
19	水		職員会議	・	職員会議	
20	木		後期テスト１⑴①② 後期テスト　⑴食③福③	・		
21	金		後期テスト１⑵①② 後期テスト　⑵食③福③	・		
22	土					
23	日					
24	月		勤労感謝の日		勤労感謝の日	
25	火		後期テスト１⑶①② 後期テスト　⑶食③福③	看③		
26	水		後期テスト１⑷①② 後期テスト　⑷食③福③ 学習自己点検⑶	・		
27	木			・		
28	金	一斉	議案書審議[1] いじめ・学校生活アンケート	・		
29	土	帰省				
30	日	日				

高校：
食育講習会　食②
18日

専攻科：
18日

12月

日	曜	寮	高校	実習	専攻科	実習
1	月		学校安全の日 修学旅行結団式[3]②			
2	火		修学旅行⑴②			
3	水		修学旅行⑵②			
4	木		修学旅行⑶②			
5	金		修学旅行⑷② ※PTA下記参照			
6	土		高校生レストラン			
7	日		高校生レストラン			
8	月			看①	自治会後期総会	
9	火			・		
10	水		校務運営委員会	・		
11	木		献血[5-7]	・	献血[5ー7]	
12	金	一斉	家庭クラブ後期総会 [5] 小論文添削⑵①② [6]	・		
13	土	帰省	食物調理技術検定１級(1)食③			
14	日	日	食物調理技術検定１級(2)食③			
15	月		生徒総会[5-6] 伝票提出			
16	火		一斉退校日		一斉退校日	
17	水		職員会議 一覧表提出		職員会議	
18	木		クラスマッチ⑴			
19	金		クラスマッチ⑵			
20	土					
21	日					
22	月	閉寮	全校集会 成績会議[放]食③福③ 【閉寮】　　※下記参照		全校集会 学校評価 【閉寮】	
23	火	・	冬期休業 [～1/6] 介護実習指導担当者会⑷			
24	水	・				
25	木	・				
26	金	・				
27	土	・				
28	日	・				
29	月	・	学校閉庁日⑸		学校閉庁日⑸	
30	火	・	学校閉庁日⑹		学校閉庁日⑹	
31	水	・	学校閉庁日⑺		学校閉庁日⑺	

高校：
ウィンタースクール
B肝ワクチン接種（3）看①
22　月　授業評価⑵
22　月　第４回地区生徒指導協議会
22　月　学校評価
5　金　東北高Ｐ連第３回委員会（岩手）
16日

専攻科：
自治会リーダー研修会（冬期講習①②）
16日

記号：丸数字①②③＝学年、小かっこ⑴⑵⑶＝回数、大かっこ[1][2][3]＝校時

高等学校　年間行事予定表（後期）

１月

		寮	高校	実習	専攻科	実習
1	木	閉寮	元日		元日	
2	金	・	学校閉庁日⑻		学校閉庁日⑻	
3	土	・				
4	日	・				
5	月	・	学校安全の日 前期選抜出願⑴[終日]			
6	火		前期選抜出願⑵[終日] 【開寮】		【開寮】	
7	水		前期選抜出願⑶[終日] 大掃除[1]課題テスト①② ※下記参照		キャリア教育自己振り返り	
8	木		前期選抜出願⑷[正午]			
9	金		先輩と語る会[6] ①② 読書会⑵ [放]		自治会看護研究発表会	
10	土		高校生レストラン			
11	日		高校生レストラン			
12	月		成人の日		成人の日	
13	火		後期テスト⑴看③ ※PTA下記参照		後期テスト⑴②	
14	水		後期テスト⑵看③ 校務運営委員会		後期テスト⑵②	
15	木		後期テスト⑶看③ 技術考査 食③		後期テスト⑶②	
16	金	一	後期テスト⑷看③		後期テスト⑷②	
17	土	斉				
18	日	帰				
19	月	省	選抜準備[3]			
20	火	日	前期選抜 【生徒登校禁止】		【生徒登校禁止】	
21	水		職員会議		職員会議	
22	木		午前授業[1-3] 前期選抜合格判定会議[放] ※PTA下記参照		午前授業[1-3]	専①
23	金		国試激励会 福③(仮)			・
24	土					
25	日		第38回介護福祉士国家試験(仮)			
26	月					専①
27	火		伝票提出③ 一斉退校日		一斉退校日	・
28	水		衛生委員会[5] 学校保健安全委員会[5-6]			・
29	木		成果発表会 食③ 前期選抜合格通知日			・
30	金		成果発表会 福③(仮) 一覧表提出			・
31	土					
			B肝抗体価判定検査（4）看① 7 水　進路希望調査⑵①② 7 水　キャリア教育自己振り返り 7 水　地区生徒指導研究大会 13 火　県Ｐ高連第２回地区事務局担当者会 22 木　町P常任委員会③（相模小）	16日	自治会国試激励会 自治会講演会	16日

２月

		寮	高校	実習	専攻科	実習
1	日					
2	月		学校安全の日 卒業判定会議		修了判定会議	専①
3	火					・
4	水		午前授業[1-3] 校務分掌反省会議[放]		午前授業[1-3] 校務分掌反省会議[放]	・
5	木					・
6	金	一斉	登校日⑴③ 予餞会[5-6] MH委員会(4)※PTA下記参照			・
7	土	帰省	高校生レストラン			
8	日	日	高校生レストラン			
9	月		校務運営委員会			
10	火					
11	水		建国記念の日		建国記念の日	
12	木		山大附特支交流会⑵ 福②			
13	金		登校日⑵③ 成果発表会 食②			
14	土					
15	日				第115回看護師国家試験(仮)	
16	月					
17	火		一斉退校日		一斉退校日	
18	水		後期選抜出願⑴[終日] 職員会議		職員会議	
19	木		後期選抜出願⑵[終日]学校評価委員会[午後] PTA役員会⑵		PTA役員会⑵	
20	金	一斉	後期選抜出願⑶[終日] 登校日⑶③			
21	土	帰省				
22	日	日				
23	月		天皇誕生日		天皇誕生日	
24	火		後期選抜出願⑷[正午] 後期テスト２⑴ ①②		後期テスト⑴①	
25	水		後期テスト２⑵ ①②		後期テスト⑵①	
26	木		後期テスト２⑶ ①②		後期テスト⑶①	
27	金		後期テスト２⑷ ①② 登校日⑷③		後期テスト⑷①	
28	土					
			6 金　県高Ｐ連第3回理事会(山形)	18日	山形県准看護師試験② 志望理由書 サポート講座①	18日

３月

		寮	高校	実習	専攻科	実習
1	日					
2	月		学校安全の日 表彰式[3] 同窓会入会式[4] 卒業式予行[5-6]		表彰式[3] 同窓会入会式[4] 修了式予行[5-6]	
3	火		卒業証書授与式		修了証書授与式	
4	水		代休(3/7)			
5	木		生徒登校日⑴ 救急法基礎講習[1-5]福②		生徒登校日⑴	
6	金	一	生徒登校日⑵[1-3] 選抜準備[3] 要録提出③		生徒登校日⑵ 要録提出②	
7	土	斉	後期選抜(本検査) 【生徒登校禁止】		【生徒登校禁止】	
8	日	帰	【生徒校舎立入禁止】		【生徒校舎立入禁止】	
9	月	省	【生徒登校禁止】		【生徒登校禁止】	
10	火	日	【生徒登校禁止】		【生徒登校禁止】	
11	水	・	【生徒登校禁止】 校務運営委員会		【生徒登校禁止】	
12	木	・	後期選抜(追検査) 伝票提出①② 【生徒校舎立入禁止】		後期選抜(追検査)伝票提出①	
13	金	・	【生徒校舎立入禁止】		【生徒校舎立入禁止】	
14	土	・	【生徒校舎立入禁止】		【生徒校舎立入禁止】	
15	日	・	【生徒校舎立入禁止】		【生徒校舎立入禁止】	
16	月	・	生徒登校日⑶ 一覧表提出①②		生徒登校日⑶ 一覧表提出①	
17	火	・	合格判定会議 合格発表 【生徒登校禁止】		【生徒登校禁止】	
18	水	・	生徒登校日⑷ 職員会議 一斉退校日		生徒登校日⑷	
19	木	・	生徒登校日⑸ 進級判定会議 指導要録提出		生徒登校日⑸ 進級判定会議	
20	金		春分の日		春分の日	
21	土		高校生レストラン			
22	日					
23	月		生徒登校日⑹		生徒登校日⑹	
24	火	閉寮	修了式・離任式[2] 【閉寮】		修了式・離任式[2] 【閉寮】	
25	水	・	春期休業 合格者説明会［午前]		春季休業 合格者説明会［午前]	
26	木	・				
27	金	・				
28	土	・				
29	日	・				
30	月	・				
31	火	・				
			【生徒校舎立入禁止】 シャッターし体育館使用可 合同進路ガイダンス①② 小論文添削指導(3)② 新旧３年進路引継会 介護福祉士国家試験合格発表	後期98日 9日	自治会リーダー研修会 看護師国家試験 0	後期98日 9日